

2023年7月7日

群馬県立太田女子高等学校

高3生・保護者様 対象講演会

『大学入試の状況と受験に対する心構え』

駿台予備学校 教務推進部
エリアマネージャー
斎藤 昌一



駿台予備学校

入試や受験について

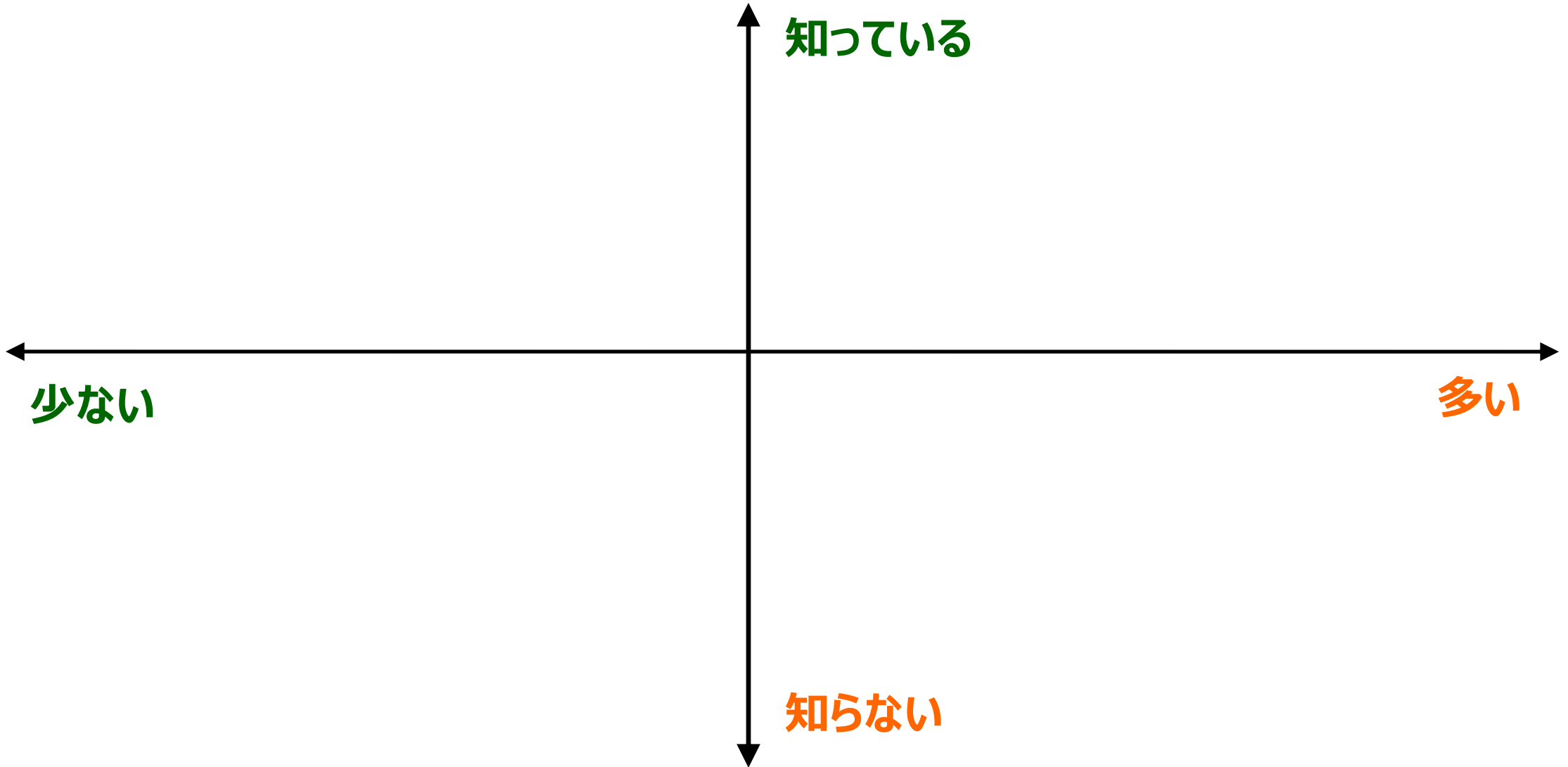
知っている

知らない

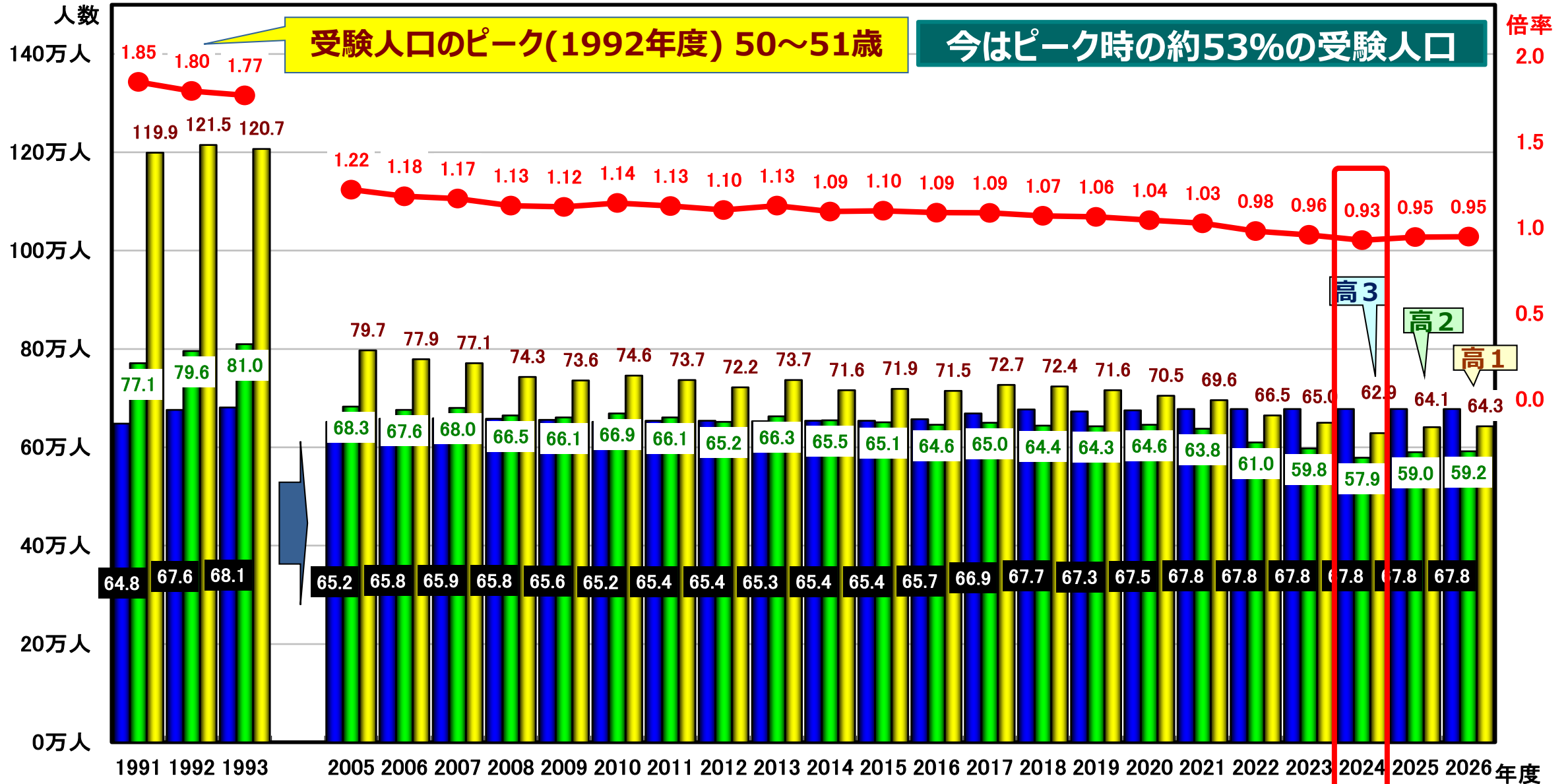
少ない

多い

口にする頻度



大学入試の状況



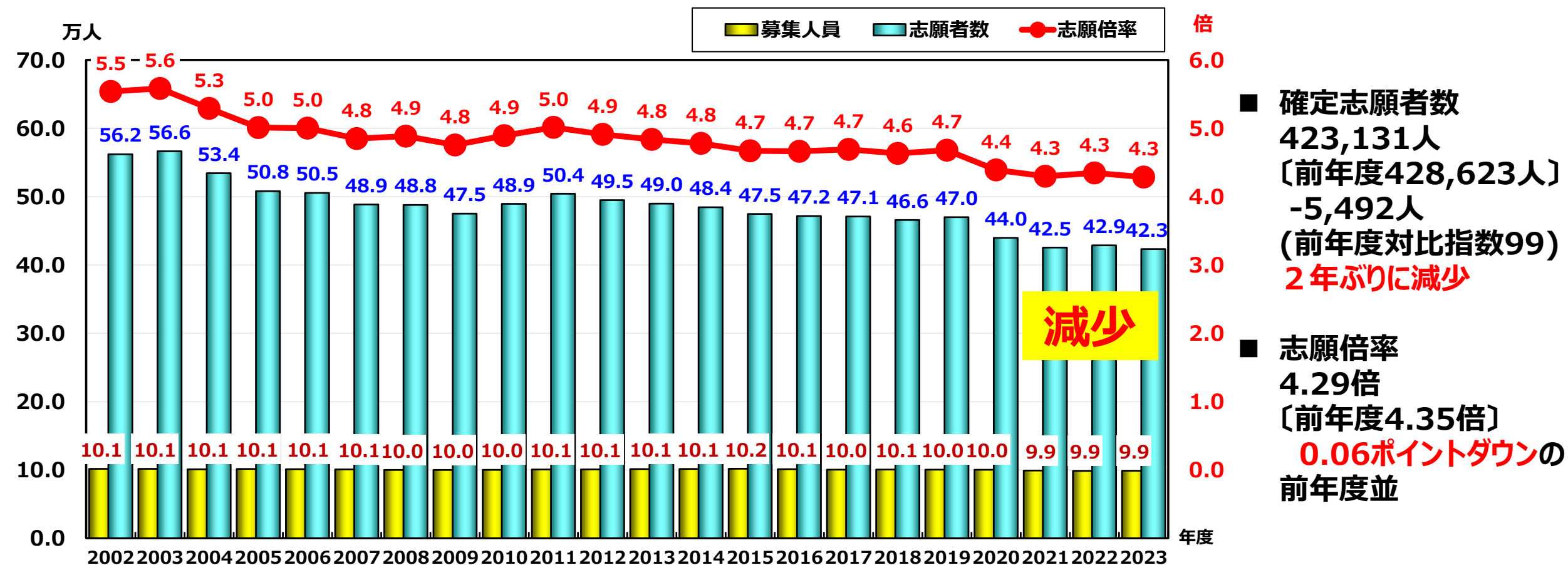
※2023年度以降は駿台推定値

■ 入学定員

■ 入学者数

■ 受験人口

● 倍率(受験人口/入学定員)

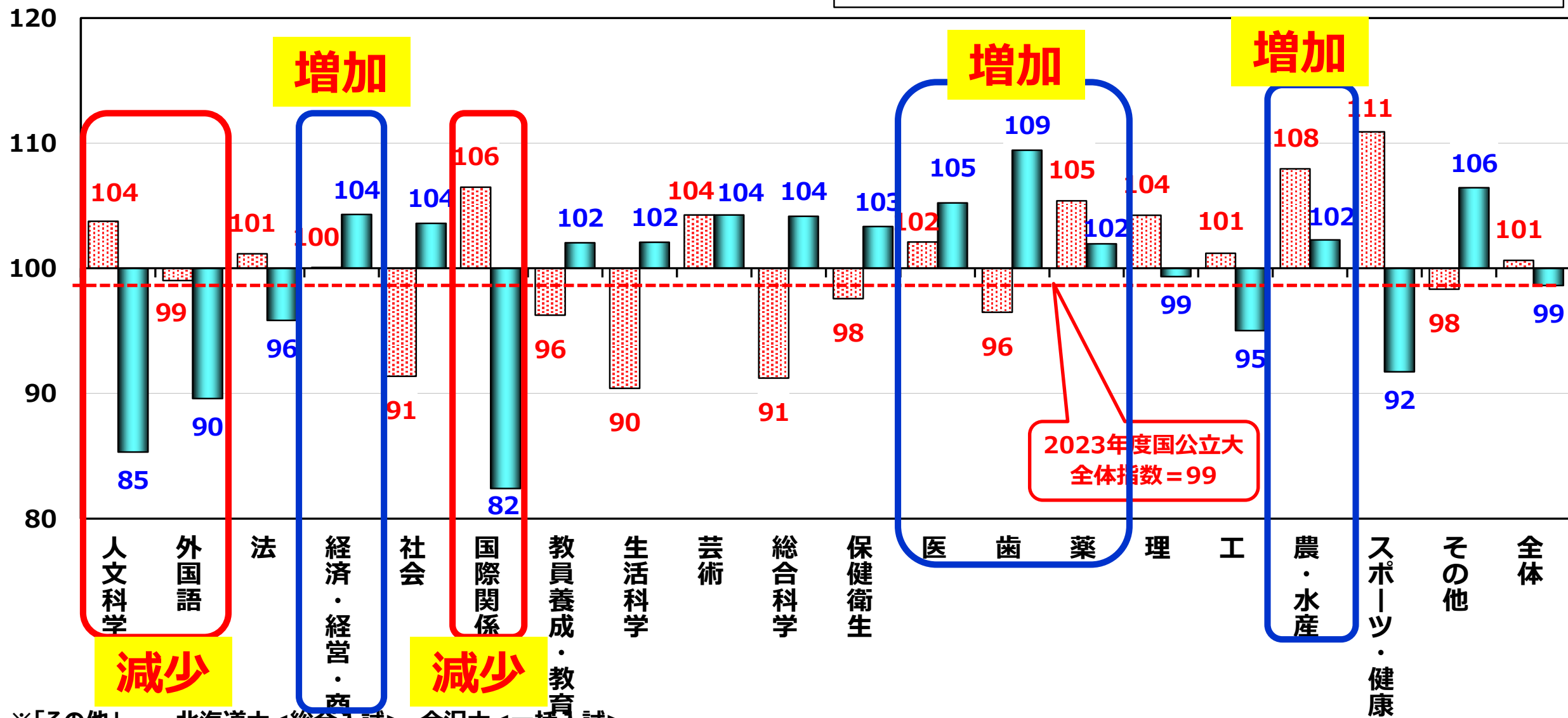


■ 微減要因

- ① 18歳人口減少による共通テスト受験者数の減少
- ② ただし、共通テスト受験者の減少率よりは国公立大学志願者数の減少率は小さい
 ⇒ 共通テスト平均点アップと厳しい経済環境を背景に、国公立大志向は高まった
- ③ 共通テスト独特の出題形式への敬遠 ⇒ マークシート方式の出題である私立大学専願へシフトする動きが見られた

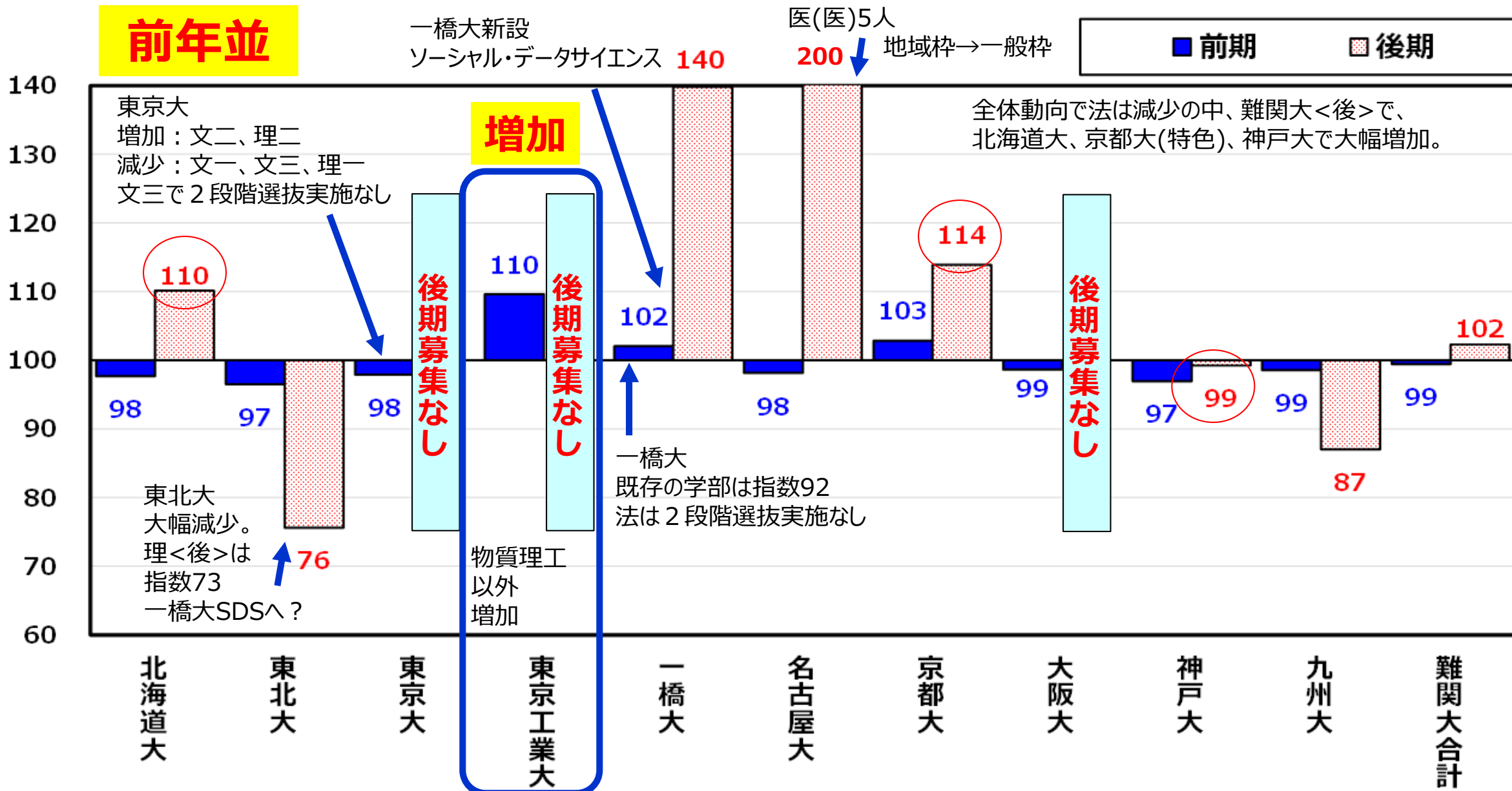
■ 2022年度/2021年度

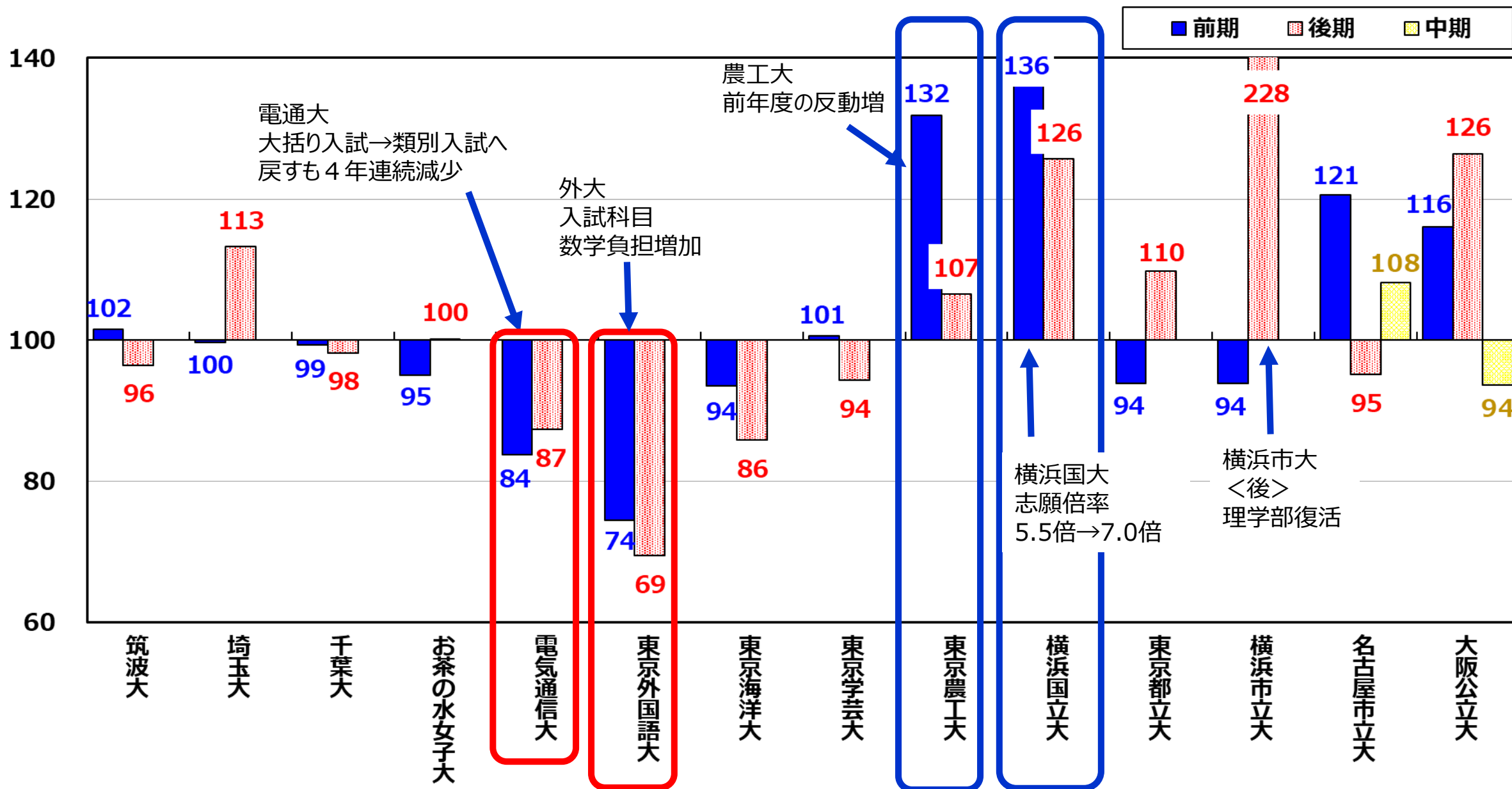
■ 2023年度/2022年度

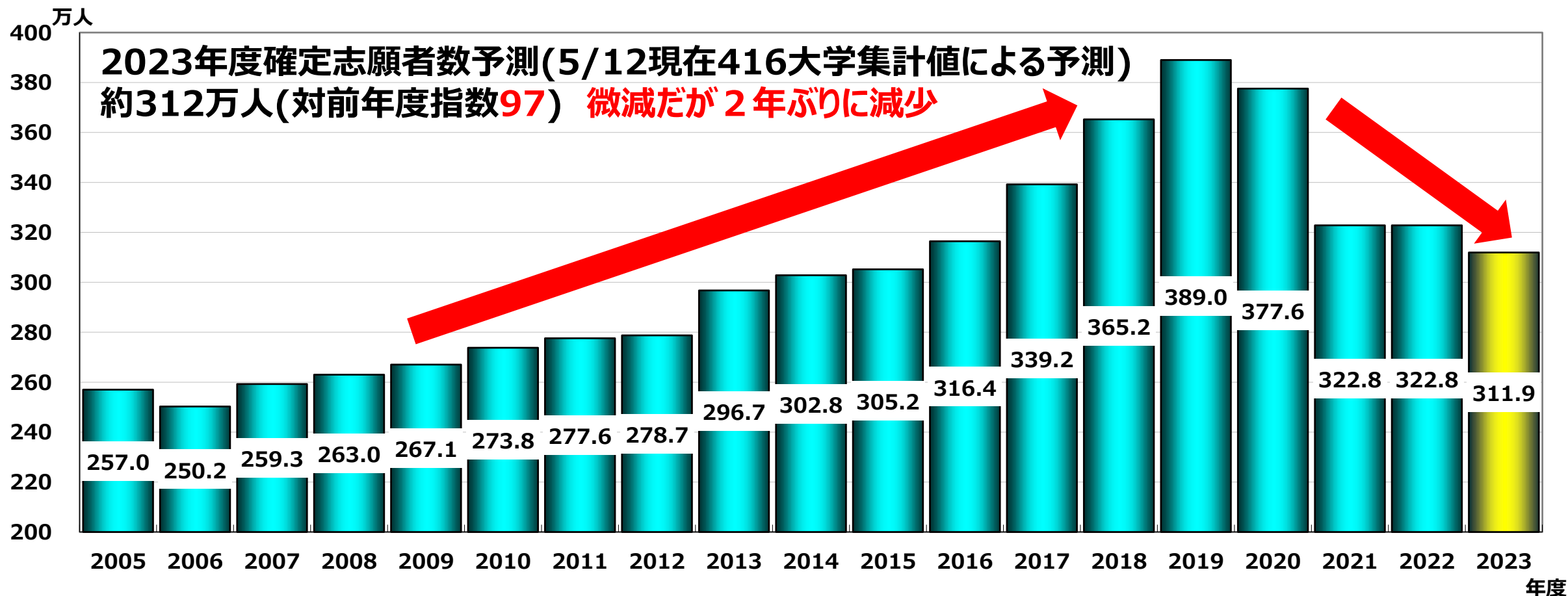


※「その他」… 北海道大<総合入試>、金沢大<一括入試>

※文部科学省発表の最終確定値(独自日程を追加、専門職大学を除く)、前年度を100とする指数







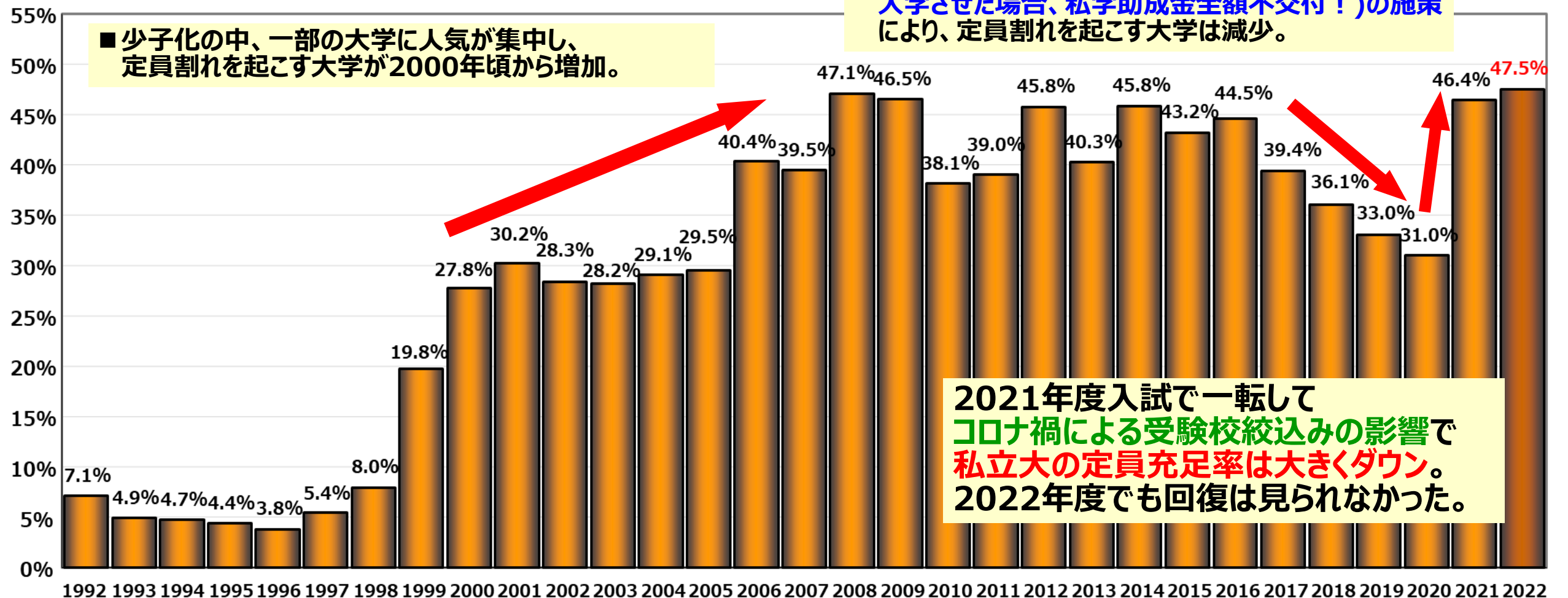
- 微減要因
- ① 18歳人口減少および浪人発生数減少に伴う受験人口全体の縮小
 - ② 中堅大学における年内入試(学校推薦型選抜、総合型選抜)へのシフト
 - ③ 私立大一般選抜全体の競争緩和による1人あたりの併願校数減少
 - ④ 地方の厳しい経済状況を反映した地元での国公立大志向の高まり

※2022年度までは文部科学省発表の最終発表数値、2023年度は駿台による推定値。

定員割れした大学の割合の推移

■ 2017年度入試以降、
大規模大学の入学定員の厳格化(定員を超過して
入学させた場合、私学助成金全額不交付!)の施策
により、定員割れを起こす大学は減少。

■ 少子化の中、一部の大学に人気集中し、
定員割れを起こす大学が2000年頃から増加。



2021年度入試で一転して
コロナ禍による受験校絞込みの影響で
私立大の定員充足率は大きくダウン。
2022年度でも回復は見られなかった。

■大規模大学の入学定員の厳格化の運用の見直し■

2023年度入試より

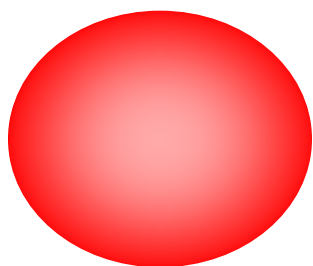
入学定員(1年生)の充足ではなく、収容定員(1年～4年生までの合計)の充足率での運用に変更。

理由：過度な補欠合格者、追加合格者の発表による混乱を緩和するため。

大学全入時代・淘汰の時代

入れる大学に入るのではなく、
入りたい大学に入れる力をつける時代！

難関大



狭き門

二極化が
さらに顕著に！

科目負担 増 ⇔ 減
出題レベル 難 ⇔ 易

実質倍率 1 倍台

定員割れ

経営困難

2024年度 共通テスト4年目（現高3）

- 現行課程の最後の入試。全国総弱気学年になってしまいそう。

チャンス！

2025年度 共通テスト5年目（現高2） 新課程入試 初年度

- 国語、地歴公民、数学のカリキュラム・科目構成の見直し等
- 「情報」の追加、5教科7（8）科目→6教科8（9）科目へ

出題教科	科目(6教科30科目)【2024年度入試まで】	
国語	国語	現代文2題、古文1題、漢文1題
地理歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※同一名称を含む科目の組み合わせで 2科目を選択することはできない
公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	
数学	① 数学Ⅰ 数学Ⅰ、数学A	①から1科目を選択
	② 数学Ⅱ 数学Ⅱ、数学B 簿記・会計 情報関係基礎	②から1科目を選択
理科	① 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	A: ①から2科目選択 B: ②から1科目選択 C: ①から2科目及び②から1科目選択 D: ②から2科目選択
	② 物理 化学 生物 地学	
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	1科目を選択



出題教科	科目(7教科21科目)【2025年度入試から】	
国語	国語	現代文3題、古文1題、漢文1題
地理歴史	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 「地理総合、歴史総合、 公共」	地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※「地理総合、歴史総合、公共」を選択 する場合は、出題範囲(「地理総合」、 「歴史総合」、「公共」)のうち、いずれか 2科目の内容の問題を選択解答。 ※2科目を選択する場合は、以下の組合 せ以外の出題科目の組合せを選択。 ・「公共、倫理」と「公共、政治・経済」 の組合せを選択することはできない。 ・「地理総合、歴史総合、公共」を選択 した者は、選択解答した問題の出題 範囲の科目と同一名称を含む科目の 組合せを選択することはできない。
公民	公共、倫理 公共、政治・経済	
数学	① 数学Ⅰ 数学Ⅰ、数学A	①から1科目を選択 ※数学Aについては、2項目の内容(図形 の性質、場合の数と確率)に対応した 出題とし、全てを解答
	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	②から1科目を選択 ※数学B及び数学Cについては、数学B の2項目の内容(数列、統計的な推測) 及び数学Cの2項目の内容(ベクトル、 平面上の曲線と複素数平面)のうち 3項目の内容の問題を選択解答
理科	「物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎」 物理 化学 生物 地学	最大2科目を選択 ※「物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎」を選択する場合は、出題 範囲(「物理基礎」「化学基礎」「生物 基礎」「地学基礎」)のうち、いずれか 2科目の内容の問題を選択解答
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	1科目を選択
情報	情報Ⅰ	

●試験形態は、センター試験に引続き、問題冊子およびマークシート式解答用紙を使用し、PBT(紙ベース)。

「英語」については、ICプレイヤーを使用する試験も実施。

■国語

- **必修科目** …「国語総合」→「現代の国語」、「言語文化」
- **共通テスト** …現代文出題2題 → **3題**、試験時間80分 → **90分**
配点変更(現100点・古50点・漢50点→**現110点・古45点・漢45点**)

■地理歴史、公民

- **必修修** …「世界史A」または「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」から1科目 → 「**歴史総合**」、「**地理総合**」
「現代社会」または「倫理」、「政治・経済」 → 「**公共**」
- **共通テスト** …出題科目(「〇〇B」→「**〇〇総合**、**〇〇探究**」、「現代社会」→「**公共**、△△」)

■数学

- **単元移行** …「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B」
→「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、**数学C**」
- **共通テスト** …数学②「数学Ⅱ、数学B、**数学C**」、試験時間60分 → **70分**
※数学Cは**文理共通科目**、理系特有科目は数Ⅲのみ

■情報

- **科目変更** …「社会と情報」、「情報の科学」→「情報Ⅰ」、「情報Ⅱ」
- **共通テスト**…出題科目は「**情報Ⅰ**」、試験時間**60分**、配点**100点**
 - 国立大学は**ほぼ全ての大学で必須**
受験必須だが配点0点…北海道大、徳島大、香川大、高知大(一部)
選択科目とする…佐賀大・芸術地域デザイン等
 - 公立大学は**選択科目**としたり、**全く利用しない大学も多い**
 - **配点は概ね共通テスト本来の配点(100点)**での利用が行われる可能性が高い
京都大・総合人間、工など、特定科目に極端な傾斜配点を用いている大学は継続(?), 筑波大は50点に圧縮
 - 私立大学は**各大学の判断**
- **個別試験** …電気通信大・情報理工<前期> 英・数・選2(物・化・**情報Ⅰ**)
広島市立大・情報科学<後期> **情報Ⅰ**

【1】 新課程入試前年度のいわゆる「安全志向」

- 2005年3月の浪人発生数・・・前年度比 -14.3%
- 2014年3月の浪人発生数・・・前年度比 -12.9%

※2014年度入試志願者：難関国立10大学志願者－1,904人、早慶大志願者－1,731人、GMARCH志願者－15,200人

【2】 新課程入試へのいわれなき「怖れ」の影響

- 今回の新課程、実は大改革ではない！⇒すでに**共通テスト**で改革済
- **手厚い経過措置の実施**(地歴・公民は旧課程受験が可能)
「情報」も過去のリスニング導入時を振り返ると、おそらく難易度は高くはない
※2006年度入試で新規導入科目だった「英語リスニング」得点率＝72.5%
- 本格的な「新課程入試」は経過措置がなくなる**2026年度(現高1生)入試**から

【3】 前回改定の2015年度入試の方が変化は大きかった

- センター試験の理科の文系2科目受験、理系の範囲は、大きな変化だった
- 2025年度新課程入試は「情報」の追加以外の変化は入試的には実はそれほど大きくない

新課程入試前年度は、難関大を狙うには絶好のチャンスに！



自らチャンスを放棄せず、「入りたい大学」への志望を貫く。
最後まであきらめないことが、志望大合格へのポイント！！

豊富な予算に基づき施設が充実しており、優秀な教授陣による質の高い講義が提供される。

社会に貢献し世界に通用する人材を育成するために、学生の教育への配慮も行き届いている。

授業が違う

難関入試を突破してきた学力の高い学生が全国から集まり、知的好奇心が旺盛な仲間が集う。

社会からの注目度が高く、自己を高めようとするモチベーションがアップする。

仲間が違う

研究・法曹・政治・行政・財界・マスコミなど、社会貢献度の高い多くの人材を輩出している。

卒業生は国内だけにとどまらず、海外においてもさまざまな分野の第一線で活躍する。

実績が違う

【国公立大学】

大学入学共通テスト受験案内(要項)交付 (9/1～)
大学入学共通テスト出願 (9/25～10/5)

*現役生は学校の指導に従うこと

【私立大学】

総合型選抜(9/1～)結果発表2/13まで
学校推薦型選抜(11/1～)

結果発表 共通テストを課さない 1/19まで
共通テストを課す 2/13まで

総合型選抜(9月～)
学校推薦型選抜(11月～)

定員の50%までを学校型選抜で選抜可

大学入学共通テスト(1/13・14)⇒データネット自己採点集計(1/15)

個別(2次)試験出願(1/22～2/2)

2段階選抜における第1段階選抜結果発表は、
前期 2/13まで、中期 ※2/18まで、後期 3/2まで

前期日程試験
(2/25～)

発表 (国立大学3/6～10)
(公立大学※3/1～10)
手続 (3/15まで★)

中期日程試験
(※3/8～)

発表 中期・後期 3/20～24
(できる限り3/23まで)

後期日程試験
(3/12～)

手続 (3/27まで★)

★手続発表日の取り扱いは大学により異なるので注意ください。

※は駿台推定。今後は必ず、文部科学省、大学入試センター、国立大学協会、公立大学協会等からの正式発表(及び変更)をご確認ください。

私立大学一般選抜(2/1～3/25)

- ◎2/1以前も可だが高校や受験生に配慮すること
- ◎私立大学入試の一般的な入試科目
文系：英語・国語・数学or歴公 理系：英語・数学・理科
- ◎入試方式の多様化
英語外部試験利用入試・全学部方式・得意科目重視など

国公立大学

- ◎「後期」廃止・縮小の動き
⇒募集人員は前期に偏っている
- ◎前期日程の合格手続 ⇒ 後期合格資格を失う

第一志望校は前期日程で！

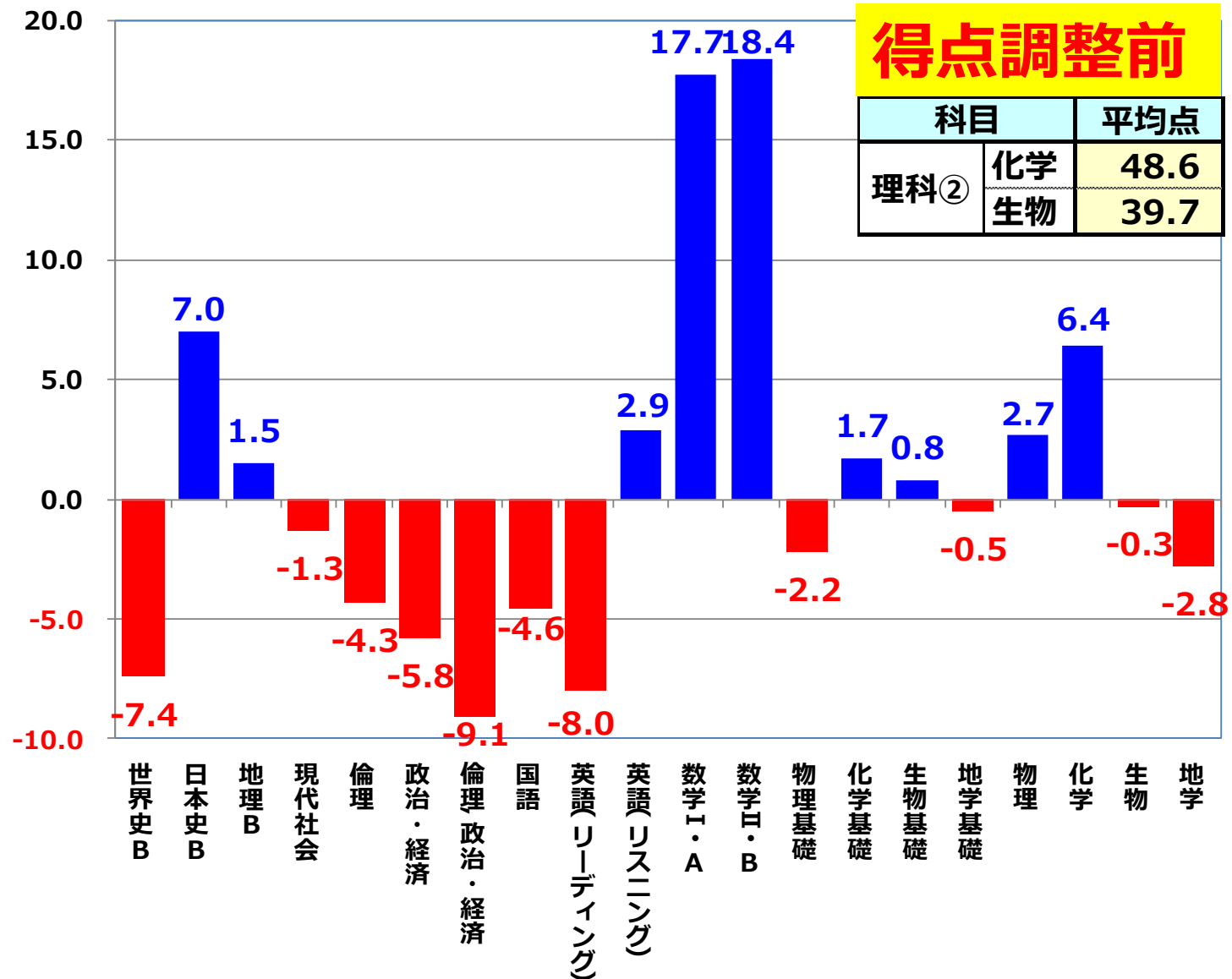
試験日	出願教科・科目		試験時間		配点
第1日目 1/14（土）	地理 歴史・ 公民	「世界史A」 「日本史A」 「地理A」	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	【1科目選択】 10:40～11:40	【2科目選択】（注1） 第1解答科目 9:30～10:30 （答案回収等） 10:30～10:40 第2解答科目 10:40～11:40
		「現代社会」 「倫理」	「倫理、政治・経済」 「政治・経済」		【2科目選択】 200点 【1科目選択】 100点
	国語	「国語」		13:00～14:20 内訳 近代以降の文章：2問100点、古文：1問50点、漢文：1問50点	200点
	外国語	「英語」 「ドイツ語」 「中国語」	「フランス語」 「韓国語」	【リーディング】 15:10～16:30 【リスニング】「英語のみ」 17:10～18:10（※音声問題解答時間は30分間）（注2）	【リーディング】 100点 【リスニング】 100点 英語以外 【筆記】 200点
第2日目 1/15（日）	理科①	「物理基礎」 「生物基礎」	「化学基礎」 「地学基礎」	9:30～10:30 （※1科目のみの受験は認めない）（注3）	【2科目選択】 100点
	数学①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・A」		11:20～12:30	100点
	数学②	「数学Ⅱ」 「簿記・会計」		13:50～14:50	100点
	理科②	「物理」 「生物」	「化学」 「地学」	【1科目選択】 16:50～17:50	【2科目選択】（注1） 第1解答科目 15:40～16:40 （答案回収等） 16:40～16:50 第2解答科目 16:50～17:50

（注1）地理歴史及び公民並びに理科のグループ②の試験時間において2科目を選択する場合には、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し、各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

（注2）リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配布したICプレイヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間60分とする。

（注3）理科のグループ①については、2科目を受験するものとし、1科目のみの受験は認めない。

教科	科目		満点	平均点		
				2023 年度	2022 年度	差 (2023- 2022)
地理 歴史	世界史 B		100	58.4	65.8	-7.4
	日本史 B		100	59.8	52.8	7.0
	地理 B		100	60.5	59.0	1.5
公民	現代社会		100	59.5	60.8	-1.3
	倫理		100	59.0	63.3	-4.3
	政治・経済		100	51.0	56.8	-5.8
	倫理, 政治・経済		100	60.6	69.7	-9.1
国語	国語		200	105.7	110.3	-4.6
外国語	英語(リーディング)		100	53.8	61.8	-8.0
	英語(リスニング)		100	62.4	59.5	2.9
数学	数学①	数学Ⅰ・A	100	55.7	38.0	17.7
	数学②	数学Ⅱ・B	100	61.5	43.1	18.4
理科	理科①	物理基礎	50	28.2	30.4	-2.2
		化学基礎	50	29.4	27.7	1.7
		生物基礎	50	24.7	23.9	0.8
		地学基礎	50	35.0	35.5	-0.5
	理科②	物理	100	63.4	60.7	2.7
		化学	100	54.0	47.6	6.4
		生物	100	48.5	48.8	-0.3
		地学	100	49.9	52.7	-2.8



※大学入試センター発表最終集計値

※平均点は小数点第二位を四捨五入。差は四捨五入の関係で0.1の誤差がある場合がある。

21 2023年度 大学入学共通テスト総括

- 2022年度よりも**易化**、**数学は大幅平均点アップ**。
- 問題文の**分量増加**（**読解力**）、**複数のテキスト**（**思考力、判断力**）、**実社会に即した題材**。
- 英語の傾向は前年度を踏襲。リーディングでは**多面的な情報処理**を要求される。
- 国語の傾向は前年度を踏襲。**複数の文章や資料を関連付ける力**を要求される。
- **理科②で得点調整**実施。生物、生物基礎の平均点が低かった。
- 政治・経済の平均点が低かった。

大学	学部（学科/専攻）	日程	共通 テスト	個別	個別試験科目・配点			
					外国語	国語	数学	歴公
北海道大	総合入試文系	前	300	450	150	150	150[1]	
東北大	経済(経済)	前	650	900	300	300	300	
筑波大	社会・国際学群(社会)	前	450	800	400	400[1]		
千葉大	法政経(法政経)	前	450	900	300	300	300	
東京大	文科類	前	110	440	120	120	80	120[2]
東京外国語大	国際社会(国際)	前	450	400	300			100[1]
		後	500	200	200			
東京学芸大	教育(中等/英語)	前	1000	*550	500			
東京都立大	法(法)	前	750	**310		150	150[1]	
一橋大	経済(経済)	前	210	790	260	110	260	160[1]

*面接50点含む

**調査書10点含む

大学	学部（学科/専攻）	日程	共通 テスト	個別	個別試験科目・配点			
					外国語	数学	理科	国語
北海道大	総合入試理系(総合科学)	前	300	450	150	150	150[2]	
東北大	工(機械知能/航空工)	前	450	800	200	300	300[2]	
筑波大	理工学群(工学システム)	前	900	1500	500	500	500[2]	
千葉大	工(総合工/機械工)	前	450	900	300	300	300[2]	
電気通信大	情報理工	前	450	450	100	200	150[2]	
		後	300	600	100	300	200[2]	
東京大	理科類	前	110	440	120	120	120[2]	80
東京工業大	全学院	前	*0	750	150	300	300[2]	
東京農工大	工(機械システム工)	前	900	900	150	350	400[2]	
横浜国立大	理工	前	900	1200	300	450	450[2]	

*共通テストの成績は第1段階選抜のみに利用

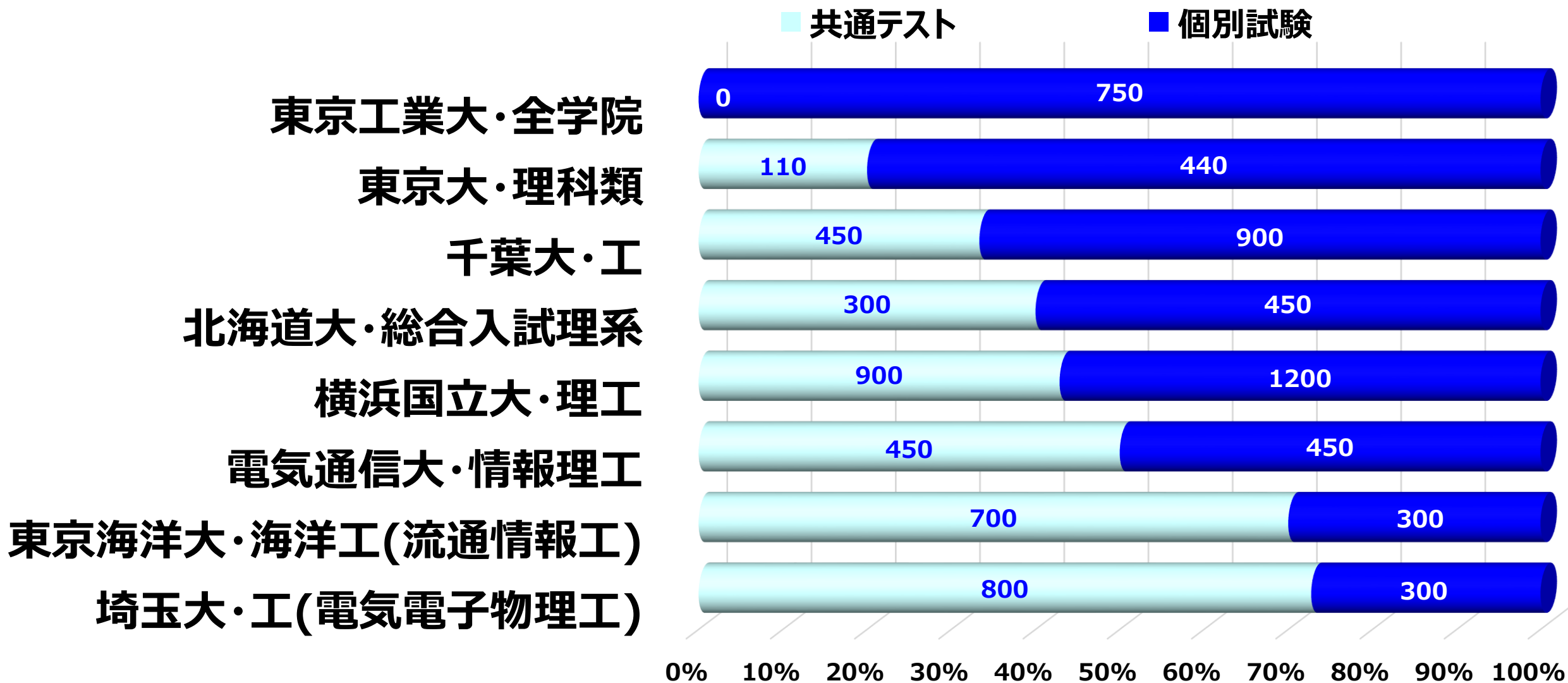
大学	学部（学科/専攻）	日程	共通 テスト	個別	個別試験科目・配点							
					外国語	国語	数学	理科	歴公	その他		
群馬大	学校教育教員養成 （教育人間科学系/教育心理）	前	800	400						小論文 300	面接 100	
	情報（情報）	前	900	400	（ア）英(200点)、数(200点)必須。（イ）英、数より1教科選択(400点)。 （ア）で上位40位以内を合格者とし、次に（イ）で高得点順に合格者を決定する。							
	物質・環境類	前	900	500	100		200	200[1]				
	医	前	450	450			150	150[2]		小論文 150	面接	履歴書
群馬県立県民健康科学大	看護	前	500	200						小論文 100	面接 100	志望理由・ 活動報告
群馬県立女子大	文（国文）	前	500	220		200				調査書 20		
	国際コミュニケーション	前	360	40						面接 32	調査書 8	
高崎経済大	地域政策／5教科	前	950	400			*		*	小論文 200		
	経済	中	300	400	**	**	**		**			

* 数学、地歴、公民のうち1教科選択（200点）

** 外国語、国語、数学、地歴、公民のうち2教科選択（200点×2）。但し地歴、公民の同時判定は不可。

共通テストと個別試験の配点比は、募集単位ごとに指定される

個別重視＝主に個別試験勝負の大学／共テ重視＝主に共通テスト勝負の大学



センター試験：筆記200点+リスニング50点配点＝250点満点

共通テスト：リーディング(R)100点+リスニング(L)100点配点＝200点満点

リスニングは1回読みと2回読みの両方の問題を含む構成で実施
入試で得点をどう扱うかは各大学の判断

リーディング：リスニング	主な大学
1：1 100点：100点、50点：50点など	北海道大 東京工業大 一橋大 九州大 お茶の水女子大 東京学芸大 等
3：1 150点：50点、75点：25点など	東北大 名古屋大 京都大 大阪大 電気通信大 東京医科歯科大 静岡大 浜松医科大 等
4：1 200点：50点、160点：40点など	神戸大 筑波大 群馬大 千葉大 新潟大 信州大 長崎大 熊本大 等

東京大7：3(140点：60点)、東京農工大<前期>13：7(130点：70点)など独自比率もある。

埼玉大、東京都立大、横浜市立大などは、学部によってさまざま。

※実際の出願指導にあたっては必ず各大学発行の当該入試年度の募集要項等をご確認ください。

大学	学部(学科)	日程	2021年度							
			募集 人員	志願 者	受験 者	合格 者	志願 倍率	実質 倍率	配点 (共:個)	個別科目
埼玉大	教養(教養)	後期	25	277	88	31	11.1	2.8	1000: 200	小論文
	経済(経済)	後期	50	537	200	50	10.7	4.0	900: 300	小論文
	工(電気電子物理工)	後期	55	167	67	58	3.0	1.2	800: 400	数・理1
千葉大	文(人文科学/行動科学)	後期	15	160	72	19	10.7	3.8	450: 400	小論文
	理(化学)	後期	8	113	43	13	14.1	3.3	450: 200	理1
電気通信大	I類(情報系)	後期	76	956	378	92	12.6	4.1	300: 600	英・数・理2
	II類(融合系)	後期	89	747	326	106	8.4	3.1	300: 600	英・数・理2
	III類(理工系)	後期	85	635	256	105	7.5	2.4	300: 600	英・数・理2
横浜国立大	経済(経済)一般	後期	75	900	374	116	12.0	3.2	800: 800	英・数
	経営(経営)一般	後期	78	910	321	126	11.7	2.5	400: 400	英・数

- ☐ 後期日程は志願倍率が高いけれど…
☒ 前期日程で合格者が抜ける
☒ 出願して欠席する受験生もいる
☐ 実質倍率を見てみよう！

例えば…

〈志願倍率〉 = 志願者数 ÷ 募集人員
 志願者1000人、募集人員100人 の場合 **〈志願倍率〉 = 10.0倍**

〈実質倍率〉 = 実受験者数 ÷ 合格発表者数
 実受験者900人、合格発表者数150人 ⇒ **〈実質倍率〉 = 6.0倍**

総合型選抜(9月～)

* 2月上旬までに発表

大学の求める学生像（アドミッションポリシー）と受験生の人物像「出願書類(志望理由書・活動報告書・調査書)」「面接・小論文」「実技試験・プレゼンテーション」などを通じて、「能力」「目的意識」が一致しているかを総合的に判断して合格を決める方式。他大学や他方式と併願可能な大学もある。

学校推薦型選抜(11月～)

* 共通テストを課さない大学 1月発表

* 共通テストを課す大学 2月発表

高校からの推薦が必要。公募制・指定校制などがある。高校時代での勉学やスポーツ、課外活動などの評価を受けて、高校からの推薦を受けることが必要。その上で「書類選考」「面接・小論文」「面接」「学力試験」「共通テストの得点」などが課される。* 指定校制は専願が基本

[参考]2023年度国公立大学募集人員のうち、総合型選抜・学校推薦型選抜 の占める割合は**22.5%**（過去最高）

活用するなら「第一志望大学・学部であること！」

- ① 中学・高校時の活動記録や大学への志望理由、入学後の学修計画などを示させることで**志望に対する強い意志**を確認する。
- ② 面接やプレゼンテーションを通して**高いコミュニケーション能力**を評価する。
- ③ **難関大では学力が重視されている**ため、高校の学習内容について特定の科目に偏ることのない、まんべんなくしっかりした学習が必要。
- ④ **最近の世界の動きや時事問題など**を題材に、自分の考えをまとめる練習をすることや、過去の質問例に基づいて面接の練習などを行うことが効果的。
- ⑤ 面接において『**志望理由**』は必ず質問され则认为ておき、その大学への入学**熱意**はもちろん、理由を明確かつ具体的に説明できるよう準備が必要。
- ⑥ 理系は**口頭試問**形式での質問もあり、過去の傾向を確認して準備したい。
- ⑦ 小論文の場合、出題形式は様々。自分の意見、課題文の要約、提示資料の分析論述など。**表現力はもちろん、漢字遣いや言葉遣い**も評価基準となる。

参考：さまざまな方式の募集人員と合格者数

東京工業大

学部	入試方式	募集人員	合格者数
全学院	一般選抜	923	973
	学校推薦型	8	9
	総合型選抜	90	91

慶應義塾大

学部	入試方式	募集人員	合格者数
総合政策	一般	225	518
	AO	150	113
環境情報	一般	225	416
	AO	150	130

大学により名称・方式は異なるが、学校推薦型の多くは募集人員通りの合格者しか出さない一方、私立大の一般選抜は、合格者を多く発表。推薦には専願と併願(可能)あり。注意。

早稲田大

学部・学科	入試方式	募集人員	合格者数
社会科学	一般	450	823
	共通テスト利用	50	305
	全国自己推薦	35	39

明治大

学部	入試方式	募集人員	合格者数
文・英米文	一般	68	210
	全学部	18	93
	共通テスト利用	9	62
	自己推薦	4	4
理工・建築	一般	88	326
	全学部	19	99
	共通テスト利用	12	254
	自己推薦	2	2

30 私立大学 さまざまな入試方式①

■ 一般方式(大学独自の試験)

- 複線入試(試験教科の異なる方式)や試験日自由選択、特定科目重視型など、実施形態はさまざま

■ 大学入学共通テスト利用方式

- 共通テストの得点のみで合否判定
- 国公立大学と同様に共通テストの得点＋大学個別試験の総合成績で合否判定

■ 大学入学共通テスト併用方式

- 共通テストを必須として一般入試(大学独自の試験)と組み合わせる方式
例)早稲田大・政治経済、国際教養、スポーツ科学、上智大・全学部、青山学院大<個別学部>等

■ 全学部入試

- 一般入試とは別日程で学部を横断して統一の試験を実施する方式で、併願の可否は大学により異なる

■ 英語検定試験利用入試

- 英語 4 技能検定試験を活用する入試で、利用できる検定試験や利用方法は大学・学部で異なる
 - ①出願要件 スコアを満たすと出願でき、英語の試験は免除(満たしていないと出願できない)
 - ②みなし満点 スコアを満たすと英語の得点は「満点」とみなされる
 - ③得点換算 スコアに応じて大学独自の得点に換算される
 - ④得点加算 スコアに応じて大学独自の得点が加算される

受験生にとって有利な受験型を選択できる、複数の受験機会が得られる

31 私立大学 さまざまな入試方式②

例) 中央大・法(法律)

入試方式	2023年度入試概要			2022年度入試結果				志願倍率			実質倍率		
	入試日	配点	入試教科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	2022年度	2021年度	2020年度	2022年度	2021年度	2020年度
学部別3教科	2/12	350	外・国・(数・歴公)	269	2,515	2,368	638	9.3	9.8	9.6	3.7	3.4	3.7
学部別4教科	2/12	450	外・数・国・歴公	60	631	576	218	10.5	13.3	15.3	2.6	2.6	2.8
6学部共通3教科	2/ 9	350	外・国・(数・歴公)	36	1,210	1,139	139	33.6	29.1	30.3	8.2	8.7	9.6
6学部共通4教科	2/ 9	450	外・数・国・歴公	20	359	334	116	18.0	14.1	16.2	2.9	2.0	3.6
共通テスト併用	共テ	500	外・数・国・(理・地歴公)	52	557	514	189	10.7	23.4	24.7	2.7	2.5	2.6
	2/12	200	外										
共通テスト単独前期3教科	共テ	700	外・国・(数・理・地歴公)	24	1,090	1,090	244	45.4	75.2	76.0	4.5	4.9	5.9
共通テスト単独前期5教科	共テ	600	外・国・数・理・地歴公	115	1,405	1,405	897	12.2	16.7	16.6	1.6	1.7	1.7
共通テスト単独後期	共テ	550	外・国・数・理・地歴公	6	97	97	18	16.2	14.0	9.7	5.4	7.6	3.2

※ 4教科入試の方が、3教科入試より倍率が低い。(=科目負担が増えると実質倍率は低くなる)

※ 実際の出願指導にあたっては必ず各大学発行の当該入試年度の募集要項等をご確認ください。

32 私立大学 さまざまな入試方式③

例) 早稲田大 [抜粋]

学部	学科/専修	一般(学部別)	一般・共通テスト併用		共通テスト利用	英語 4 技能利用
			共通テスト	学部試験		
文 文化構想		英・国・選(日・世)	選 (数・理・地理・公民)	英・国		英検定・国・ 選(日・世)
法		英・国・選(日・世・政経・共テ数)			5 教科	
政治経済			英・国・数ⅠA・ 選(数ⅡB・理・歴公)	総合問題	5 教科	
商		英・国・選(数・日・世・政経)				英検定・英・国・選 (数・日・世・政経)
社会科学		英・国・選(数・日・世)			5 教科	
教育	教育 社会科	英・国・選(日・世・地理)<文科系A>	5 教科<C>	総合問題		
	国語国文	英・国・選(日・世・地理)<文科系A>	5 教科<C>	国		
	英語英文	英・国・選(日・世・地理)<文科系A>	5 教科<C>	英		
	理/地球科学	英・数・選(物・化)<理科系B>	5 教科<C>	理		
	理/生物	英・数・選(物・化)<理科系B>	5 教科<C> 3 教科<D>	理		
人間科学		英・国・選(数・日・世)<文系>	5 教科	数	5 教科	
		英・数・選(物・化・生)<理系>				
国際教養			国・選(数・理・地歴)	英(・英検定)		

政治経済、国際教養、スポーツ科学は学部独自試験のみで受験できる方式はない＝「共通テスト」が必須！

※実際の出願指導にあたっては必ず各大学発行の当該入試年度の募集要項等をご確認ください。

33 私立大学 さまざまな入試方式④

例) 青山学院大 [抜粋]

文
(英米文)

方式	募集人員	試験	入 試 科 目 ・ 配 点		
個別 A	70	共通 テスト	英	国	歴公 1
			100	100	100
個別 B	40	独自	英	総合問題 100	
			200		
個別 C	40	独自	英	国	英語による記述式 問題および小論文
			200	100	
全学部	5	独自	英	国	日・世・政・数から 1
			150	100	
共通 テスト	15	共通 テスト	英	国	数・理・歴公から 1
			200	100	100

法
(法)

方式	募集人員	試験	入 試 科 目 ・ 配 点			
個別 A	80	共通 テスト	外	国	数・歴公から 1	
			65	100	35	
個別 B	25	独自	総合問題	国・日・世・政の総合問題		
			200			
全学部	80	共通 テスト	外	国	数・歴公から 1	
			100	65	35	
共通 テスト	10	独自	総合問題	英・日・世・政の総合問題		
			200			
全学部	80	独自	英	国	日・世・政・数から 1	
			150	100	100	
共通 テスト	10	共通 テスト 3	外	国	数・理・歴公から 1	
			100	150	100	
共通 テスト	10	共通 テスト 5	外	国	数 I A 歴公	数 II B・理・歴公*から 1
			200	200	100 100	100

経済
(経済)

方式	募集人員	試験	入 試 科 目 ・ 配 点		
個別 A	180	独自	英		日・世・政から 1
			150		100
個別 B	100	独自	英		数
			150		100
全学部	30	独自	英	国	日・世・政・数から 1
			150	100	100
共通 テスト	10	共通 テスト	英	国	数 歴公 1
			200	100	100 100

理工
(数理
サイエ
ンス)

方式	募集人員	試験	入 試 科 目 ・ 配 点		
個別 A	20	独自	英	数	物・化から 1
			150	150	150
個別 B	13	独自	英	数	物・化から 1
			100	200	200
全学部	6	独自	英	数	物・化から 1
			150	150	100
共通 テスト	4	共通 テスト	英	数	物・化から 1
			200	200	200

*法(法)
<共テ>の
歴公は同一
科目の選択
不可

※実際の出願指導にあたっては必ず各大学発行の当該入試年度の募集要項等をご確認ください。

受験に対する心構え

1.入試直前までの授業を大切に

- 授業をいい加減にして自分勝手な学習（添削や問題集）に走るのはもっとも危険
- 予習は必ず行う→事前にわからない点や聞きたい点をはっきりしておく
- 復習で授業でわかった点が確実に確認する（分かった気になってないか？）

2.教科書があくまで中心。参考書はうまく活用

- 成績の伸びない生徒ほど、たくさんの参考書や問題集を持っていることが多い
- 1回で理解できる人はまずいない。繰り返し学習が大切

3.苦手科目を克服

- 得意科目をさらに伸ばすより先に、苦手科目を平均点に持っていく方が容易
- 不得意科目を放置しておく、焦りをうむ

4.分からない点を放置しない

- 先生に積極的に質問できる生徒は必ず合格できる
- 安易に聞くのではなく自分の頭を使って「考える」ことが重要→その上での質問

5. 模試やテストを上手く活用

- 点数や偏差値・判定に一喜一憂しない
- 解答や解説をよく読んで「反省ノート」を作ろう
- マーク模試では、いつも本番のつもりでマークの練習をしよう

6. 規則正しい生活と計画性のある学習

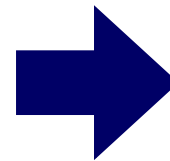
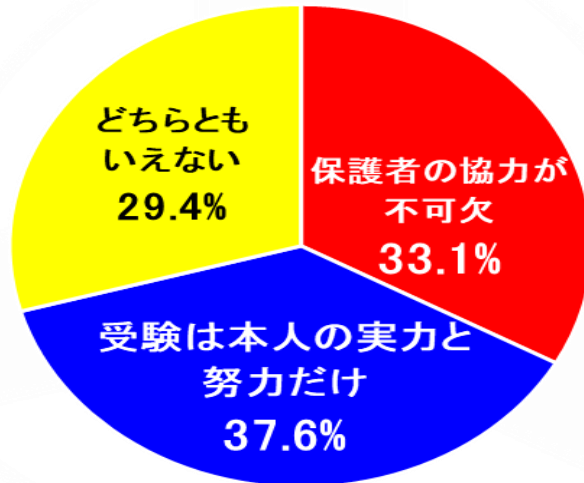
- 起床時間・就寝時間を一定させる
- 睡眠時間を確保する
- 長期計画と短期計画を組合せ自分の学習到達度を把握する
- あまり「完璧主義者」はよくない。精神的、時間的余裕を持つ
- 時には軽い運動や気分転換も必要 → 受験は体力も必要

7. 正確な入試情報

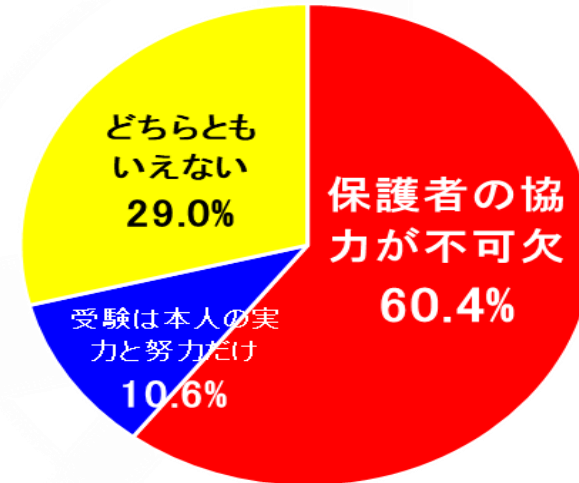
- 進路指導室の利用
- ネット上などでの不明瞭な情報にふりまわされない
- 大学の出題傾向の分析と受験校対策

Q 1.合格・不合格は保護者の協力と関係があると思いますか？

25年前

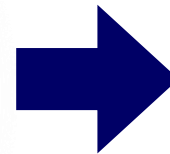
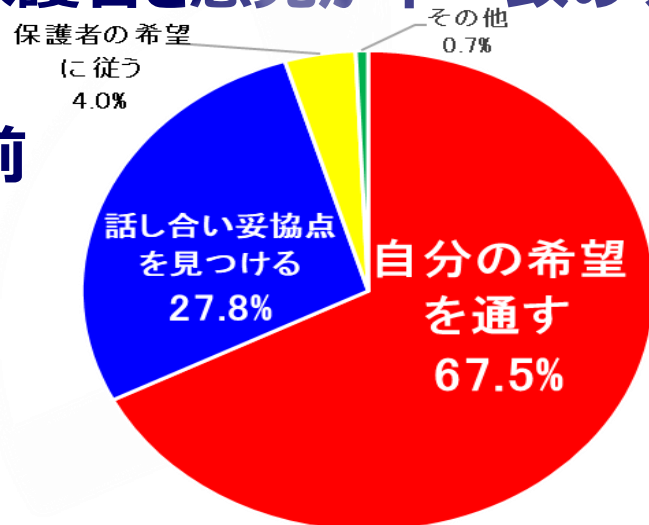


現在

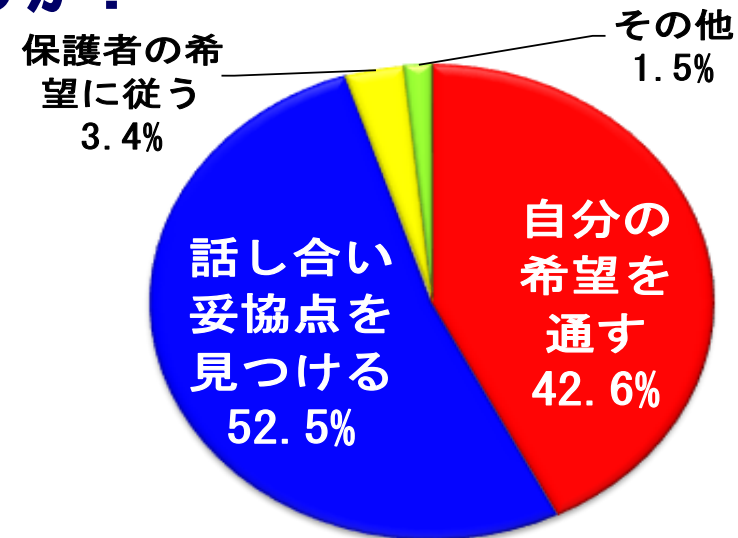


Q 2.保護者と意見が不一致の場合、どうしますか？

25年前

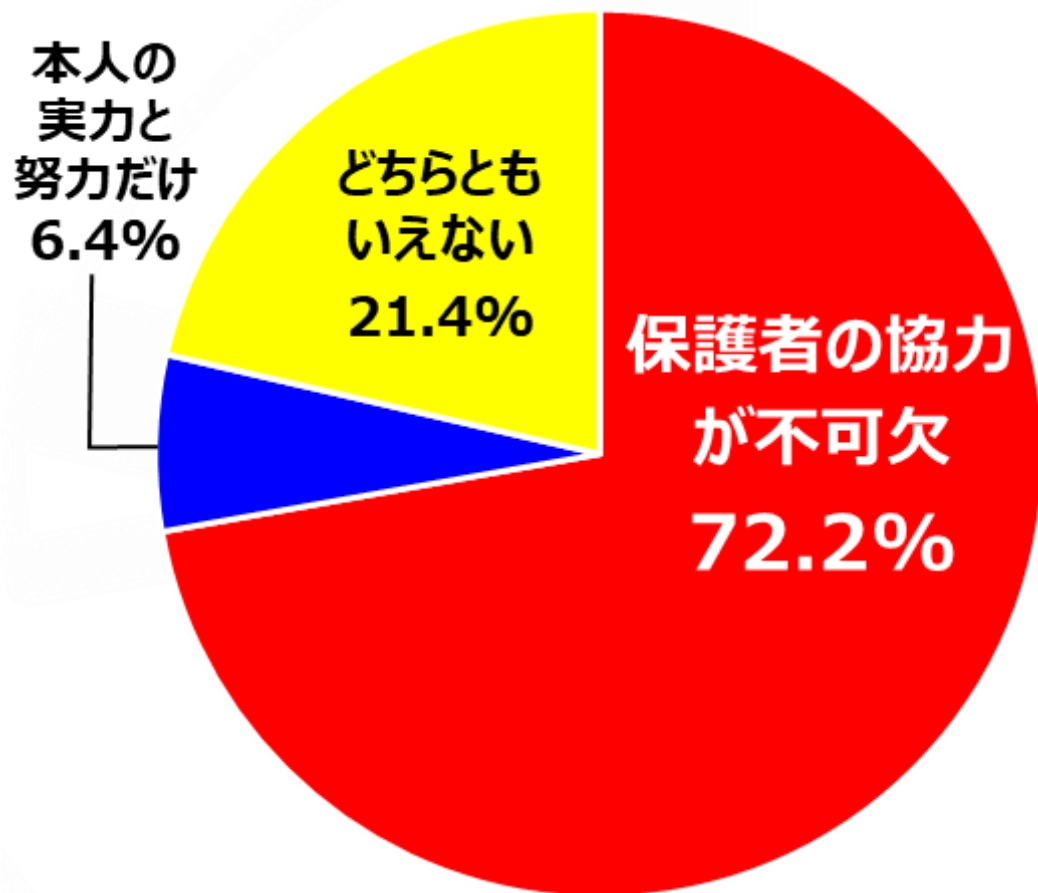


現在

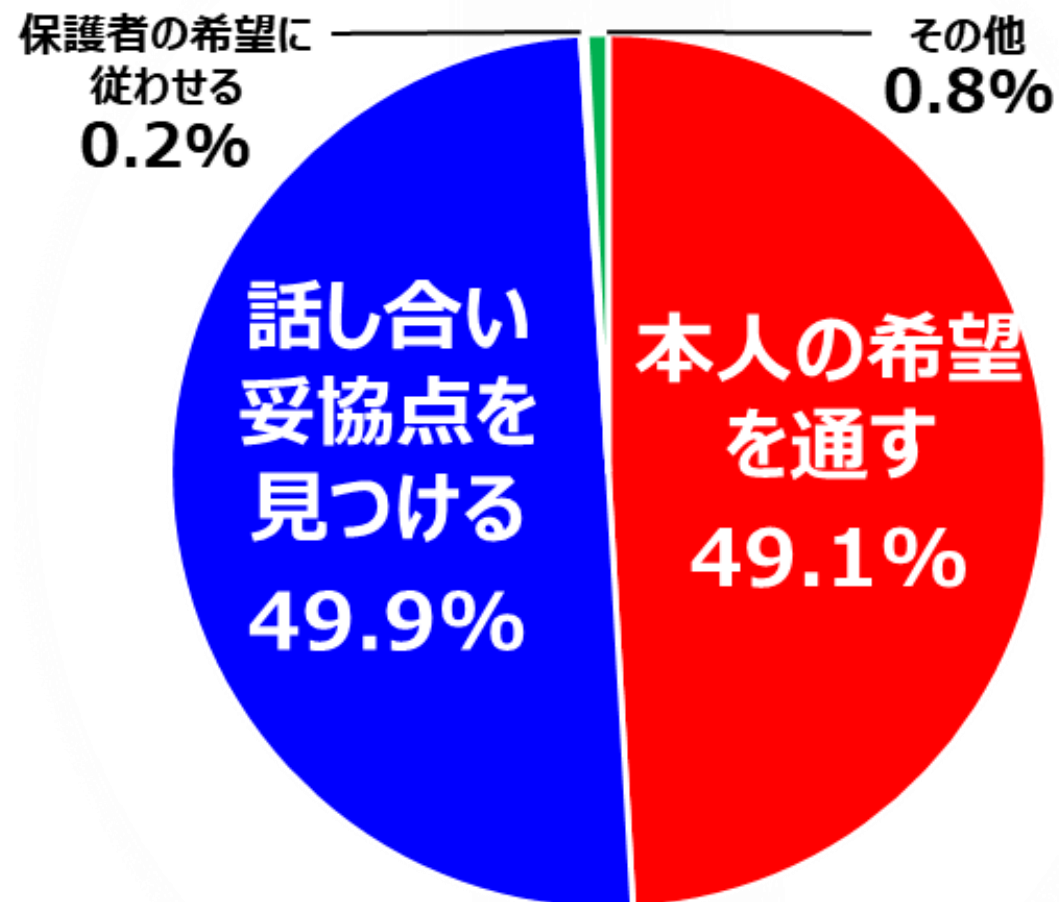


保護者の方に聞きました

Q 1. 合格・不合格は保護者の協力と関係があると思いますか？



Q 2. 本人と意見が不一致の場合、どうしますか？



Q 3. 生徒に協力したいこと

- ・食事・栄養・健康管理
- ・学習環境を整える
- ・受験校の相談にのる
- ・精神面、金銭面のサポート
- ・情報収集
- ・気分転換のおしゃべり
- ・開運のサポート
- ・目の前でスマホをやらない

生徒自身は……

- ・応援して欲しい
- ・受験についての理解
- ・今まで通りにして欲しい

Q 4. 生徒に控えようとしていること

- ・勉強しろと言うこと
- ・自分の価値観を押し付ける
- ・模試の成績に一喜一憂する
- ・過度な期待
- ・他人と比べる
- ・金銭面の心配をさせる
- ・行動監視
- ・学習計画に口を出す

生徒自身は……

- ・過干渉
- ・兄弟姉妹、友人との比較
- ・家族内のケンカ

◆受験料

共通テスト3教科以上	18,000円 ～
国公立大学個別(2次)試験	17,000円 程度
私立大学(文系・理系)	35,000円 程度
私立大学(医学系)	60,000円 程度
私立大学(歯学系)	40,000円 程度
私立大学(共通テスト利用入試)	18,000円 程度
英語検定試験(英検準1級)	9,800円

◆入学金・授業料・施設設備費<初年度納付金>

国立大学(標準額)	817,800円
公立大学(地域内)	765,000円 程度
公立大学(地域外)	927,700円 程度
私立大学(文系)	1,189,000円 程度
私立大学(理系)	1,566,300円 程度
私立大学(医・歯学部系統)	4,890,600円 程度

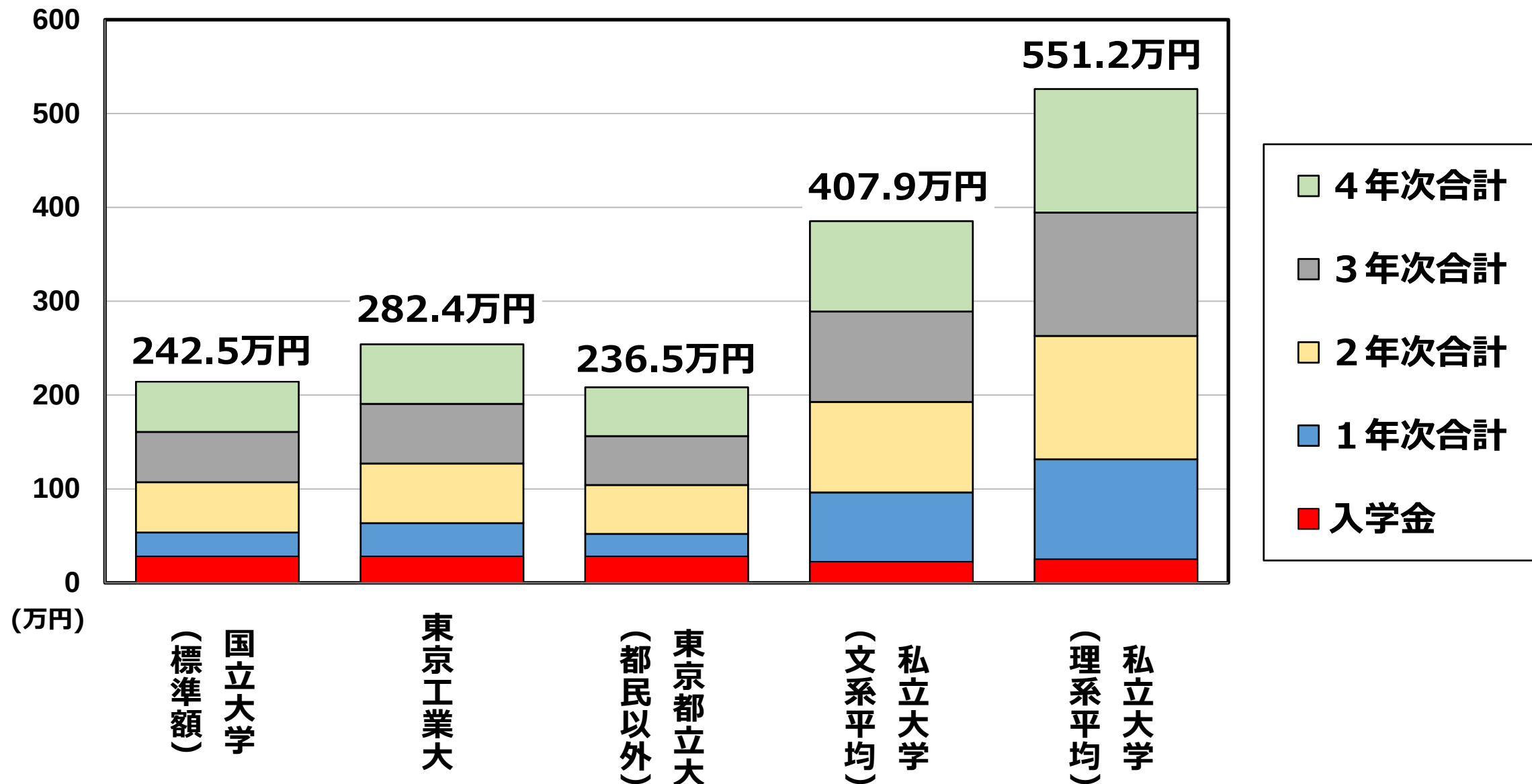
※文部科学省の調査結果による平均値

例) 国公立大志望者(私立大学併願)

共通テスト出願(成績開示込み)	18,800 円
国公立大学<前期><後期>出願	17,000円×2 = 34,000 円
私立大学共通テスト利用入試3校出願	18,000円×3 = 54,000 円
私立大学一般入試6校出願	35,000円×6 = 210,000 円
国公立大学発表前に私立大学に1次入学金納入	200,000 円
国公立大学<前期>合格、初年度納付金支払	817,800 円

1,334,600円

大学4年間の学費比較



※各年次合計は授業料+諸経費等。私立大学は文部科学省「令和3年度学生納付金平均額調査結果」より。初年度平均値を2～4年次に適用して算出。

※私立大学医学部・歯学部の場合、6年間で平均3,000万円程度。

Q.「現役合格できなかった理由は？」

- ①受験勉強開始が遅かった
- ②受験を甘く考えていた
- ③高1・2の時に遊びすぎた
- ④基本的学習の不足
- ⑤計画的学習が出来なかった
- ⑥不得意科目で失敗した
- ⑦色々なものに手を出しすぎた
- ⑧効果的な学習方法がわからなかった

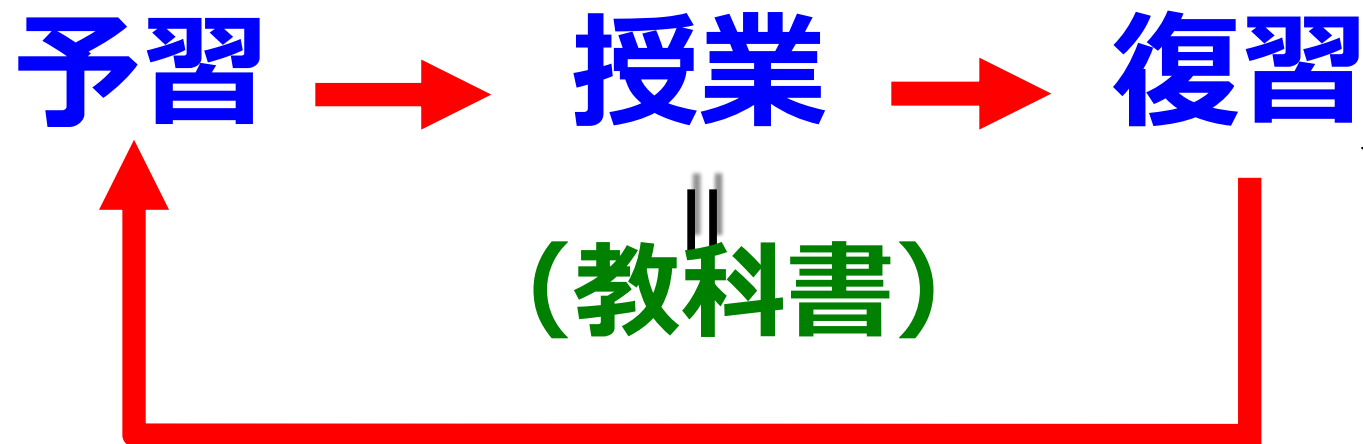
Q.「現役合格できた理由は？」

- ①最後まであきらめなかった
- ②得意科目で得点できた
- ③受験準備が早かった
- ④計画的学習が実行できた
- ⑤受験時に不得意科目がなかった
- ⑥「運」以外のなにものでもない
- ⑦規則正しい受験生活を送った
- ⑧集中力があつた

受験を意識し、今すぐはじめよう！

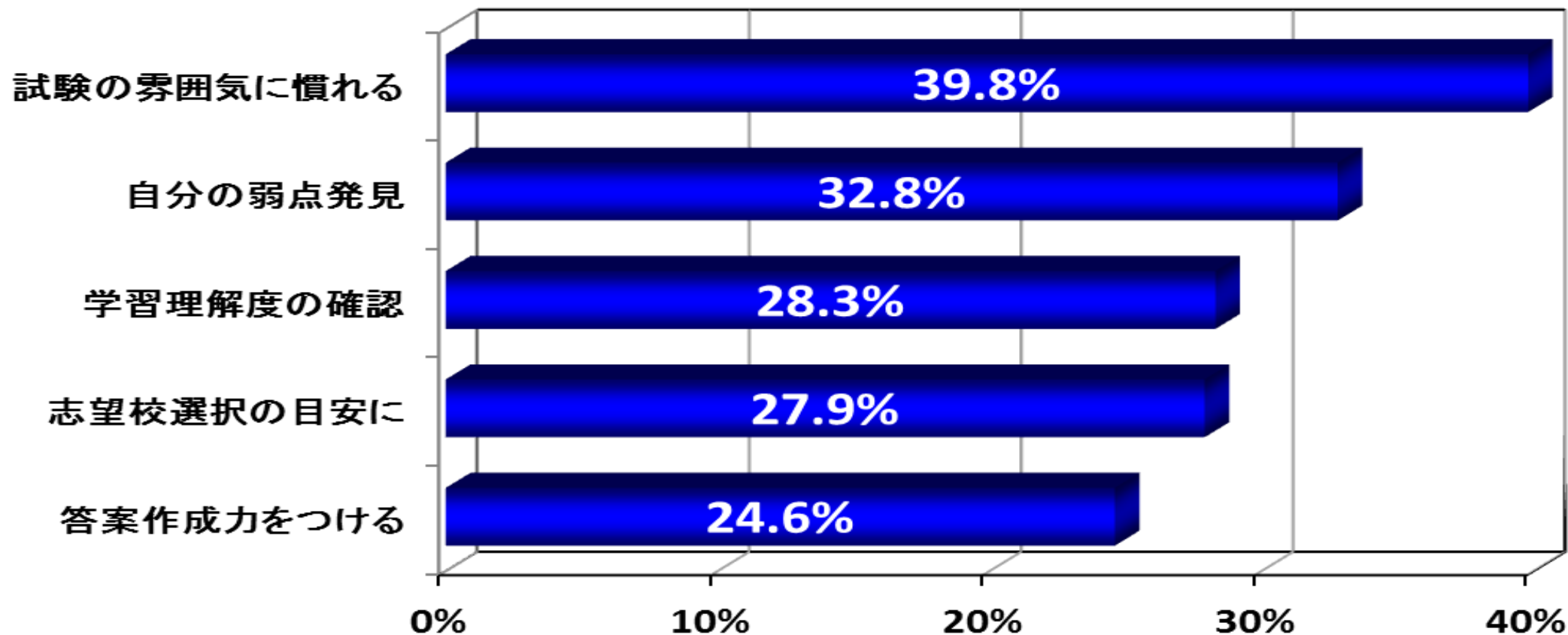
入試直前まで、学校の授業を大切に！

- 授業をいい加減にして自分勝手な学習（添削、問題集など）に走るのはもっとも危険
- 予習：必ず行う→事前にわからない点や聞きたい点を明確にしておく
- 復習：授業でわかった点が確実かどうか確認する
「なんとなく・・・」「・・・つもり」で終わらせない



疑問点は質問

模試・テストの活用 目的は？

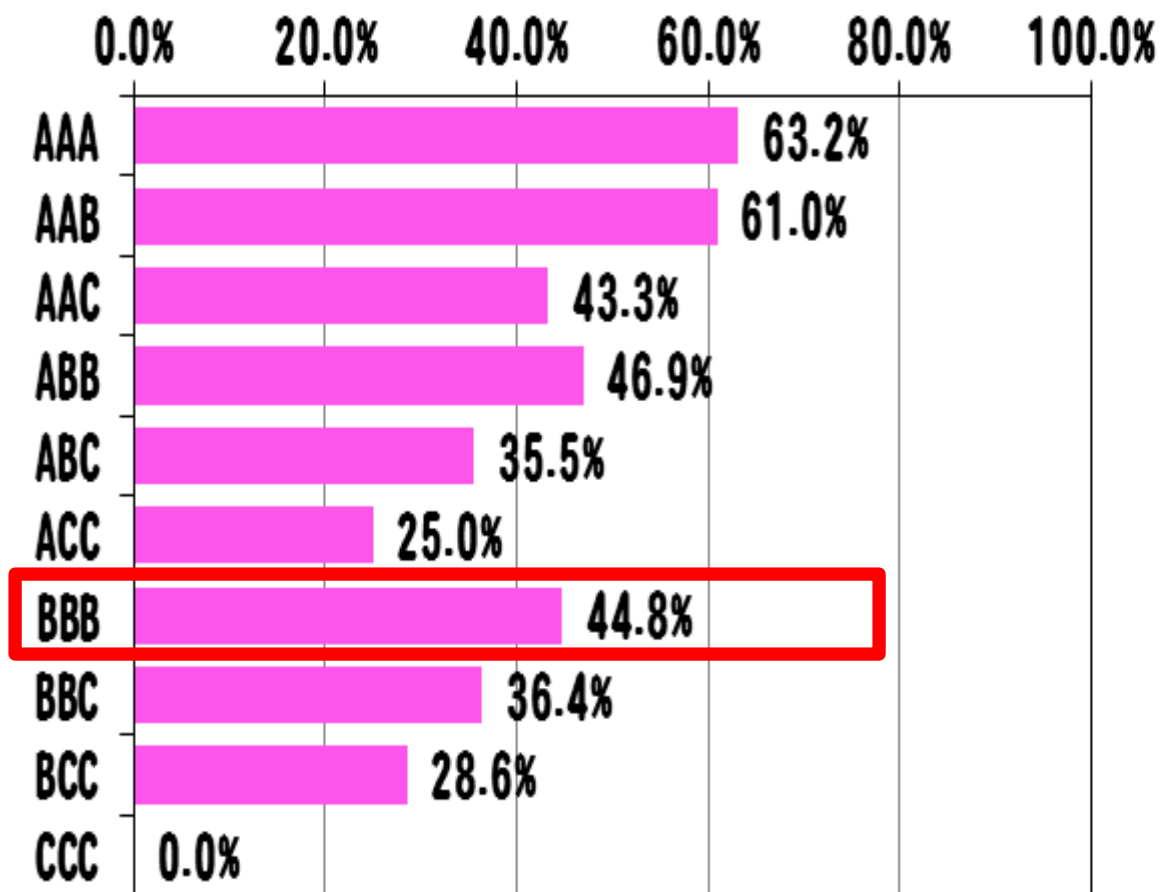


全国の受験生の中での、現在の位置を客観的に確認する
足りない科目・分野を把握し、今後の対策を取るためのもの
「あきらめる」ためのものではない！

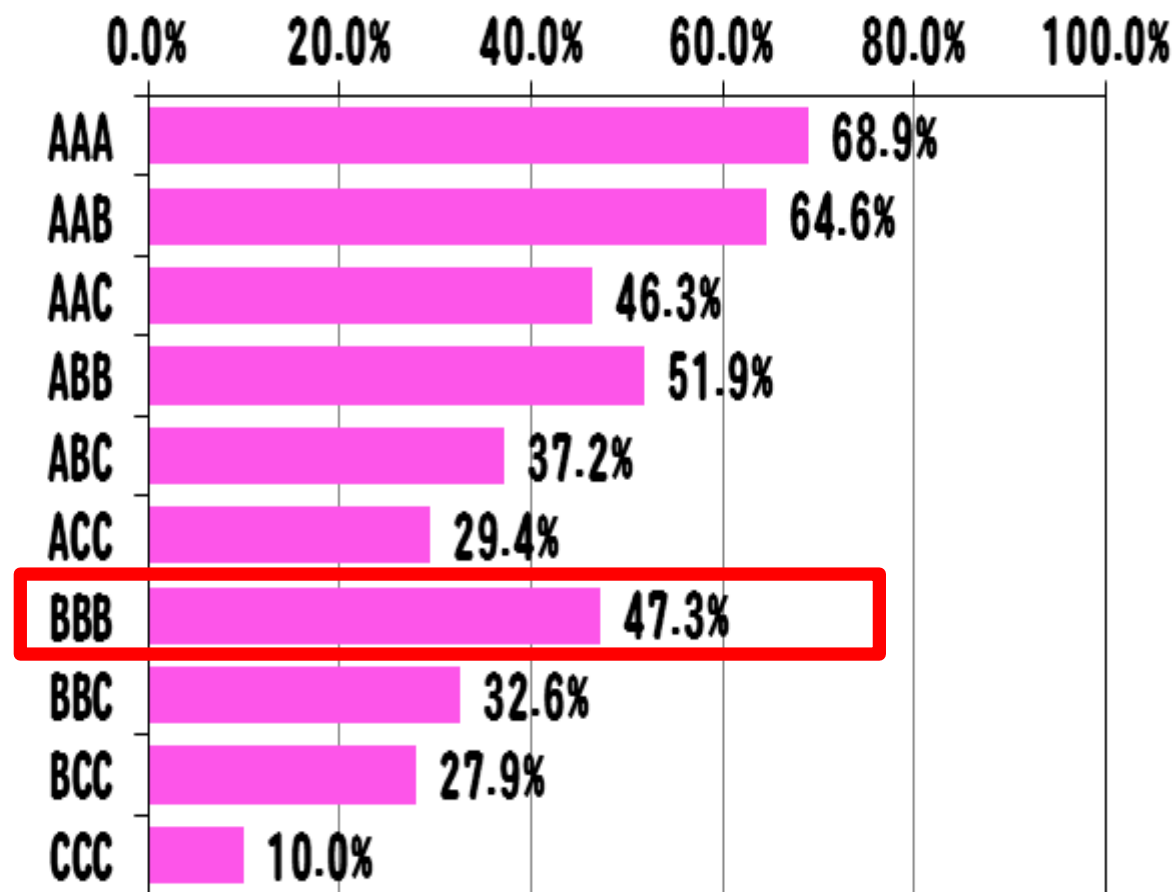
★成績パターン別 現役合格率（全国模試）

※各科目の偏差値を、**A:57.0以上**, **B: 56.9~47.0**, **C: 47.0未満**でパターン化

東北大・文系



東北大・理系（医-医除く）



■ 設問別成績例

【英語】		配点	得点	全国 平均点
1	発音・アクセント	30	22	20
2	語彙・語法・文法	30	2	16
3	読解	40	36	22
4	読解（総合）	60	32	24
5	英作文	40	16	13

◎ 配点から考えて、平均点が高い問題（＝やさしい問題）

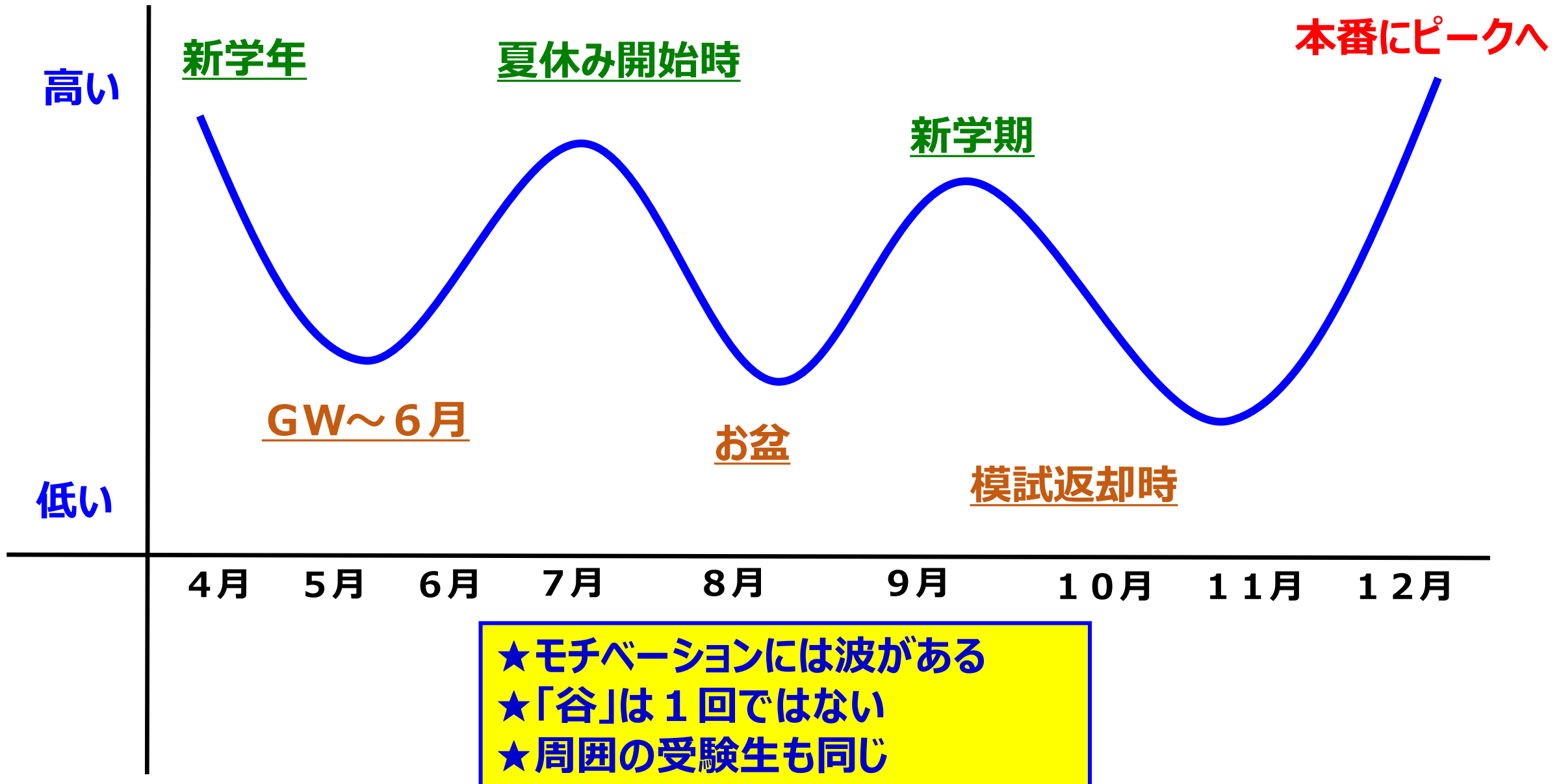
◎ 自分自身の得点が平均点を割り込んでいる

⇒ 周りの受験生が得点できている設問で落としている

（＝差がついている、＝合否を分ける）

◎ 復習すればすぐ得点に変えられる

（＝やさしいから、労力はかからないはず）



■ 朝が基本であることは食事と同じ

- 朝食を抜くと努力が報われない
- 食べ物でしか取れない栄養

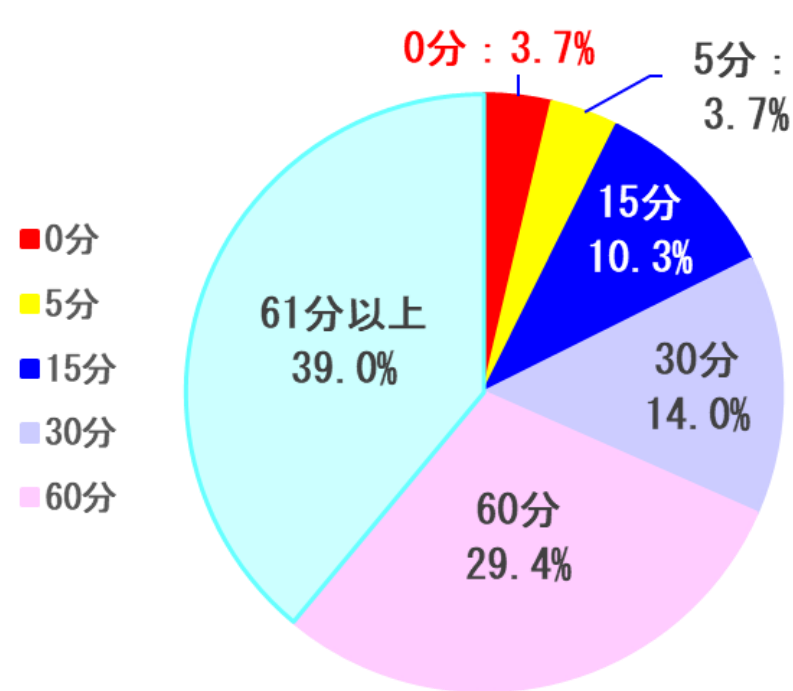
■ 睡眠は体調管理のためだけでない

- 土日に長い睡眠→慢性睡眠不足の証
- R E M睡眠は記憶の定着に関わる

■ 孤独はつらいから通学ノススメ

- 限界は自分自身が引く境界線
- チーム太女の団体戦（先生、保護者、仲間）

49 合格者に聞きました…時間の使い方

Q. 受験学年の時、スマホ等で勉強以外の利用時間は？
(ゲーム・インスタ・ブログ・YouTubeなど)

0分の合格者より

- ・スマホを使わないと自分で決める
ルールを守り切る信念がないと合格はきついかも（東京大）
- ・持っていなかった（慶應義塾大）
- ・高3の時は所有してませんでした（医）

その他

- ・勉強を記録するアプリを使用（千葉大）
- ・スクリーンタイムでスマホ断ち（多数）
- ・自分が使用している時間を客観視した（医）
- ・勉強する時は別の空間に置く、親に預ける、パスワードをかけてもらう、タンスにしまう、先生に提出したなど（多数）

1日あたり1時間以内の合格者が60%以上。1時間以上の方は「ニュースのチェック」「気分転換に通学時に音楽」など。

後輩へのアドバイスにはほとんどの方が「**使わないのが一番**」

「スマホ→勉強→スマホ」じゃなくて、「勉強→スマホ→勉強」

「**勉強方法の検索は実行しなければ意味なし！**」というお言葉もいただきました。

「声に出す」「文字にする」会話の重要性

たとえば出題内容にこんな話題も・・・

2023年	北海道大学	異文化に対するステレオタイプの危険性
2022年	東北大学	気候変動と環境難民
2023年	東京大学	現代人が感じる時間不足
2022年	大阪公立大学	現代日本のジェンダー問題に対する一考察
2021年	神戸大学	STEM教育における女性比率の低さ
2022年	京都大学	デジタル媒体による情報保管の危険性
2021年	慶應義塾大学(経済)	顔識別技術への賛否論
2023年	慶應義塾大学(理工)	ロボット倫理学
2022年	早稲田大学 (基幹理工・創造理工・先進理工) 外交政策手段としての国際	

⇒ 日常会話が、大学入試への読解力（教養・時事問題）を育み、鍛える！

51 現役生は試験当日まで大きく伸びる！

あきらめない受験勉強こそ成果につながる。

あきらめてしまうピンチ①

志望大学を諦めて入試科目を絞ったり、
学校推薦型・総合型選抜へ変更したり。
志望大学DOWN→モチベーションも
DOWN...

あきらめてしまうピンチ②

今の学力で受かるところなら
どこでも良いのでは。私立大
学の安全校ばかり増やして、
志望大学DOWN...

既卒生

部活動終了！
さあ、勉強に時間が
たっぷり使える！

スランプ...

9月・10月模試成績表返却！
良くない判定でもここで諦めなければ...

合格！



4月

8月

10月

12月

1月

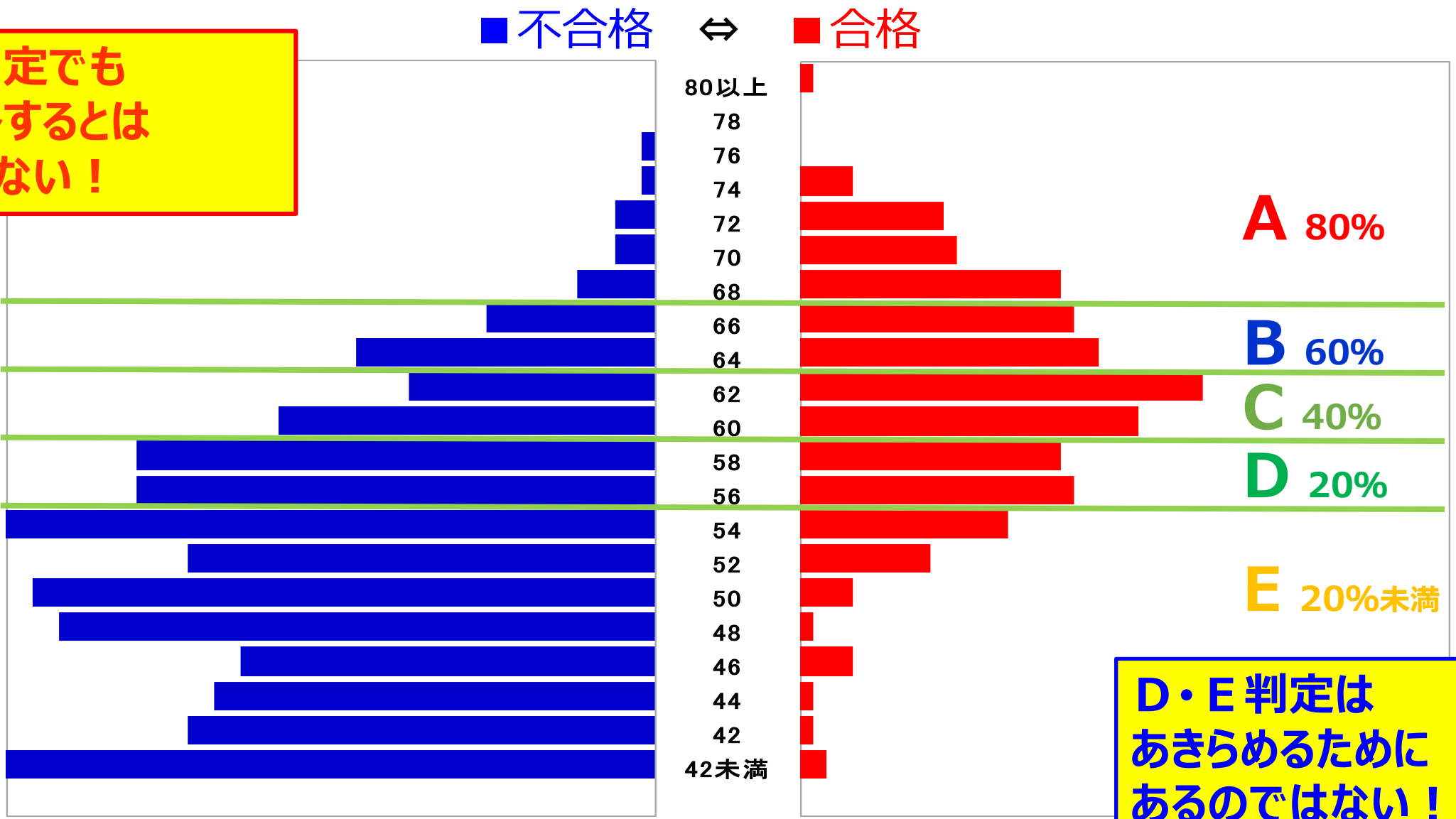
2月

3月

現役生

52 最後まであきらめさせない(早稲田大・法)

A判定でも合格するとは限らない！



D・E判定はあきらめるためにあるのではない！

① 現役生は入試直前まで伸び続ける！という信念を持つ

- ＊ 謙虚に、不得意科目の解消を一刻も早く！
- ＊ 限界は自分自身が引く境界線
- ＊ 学校の授業を最後まで大切にして勝利をつかむ！

② 大学入試は長期戦、体力・精神力は必須

- ＊ 普段力を鍛えよう！
- ＊ 心身の健康、元気あつての受験

③ 夢(目標)はチャレンジしなければつかめない！

- ＊ 現在の苦労は、将来の宝物
- ＊ 今の学力は入試日の学力ではない！
- ＊ 時代が求める期待される人物像のキーワードは 「挑戦」 「志」
- ＊ 出願なしに受験なし、受験なしに合格なし

第一志望は、ゆずれない。

ご清聴ありがとうございました。
本講演が志望校合格の一助となれば幸いです。

<https://www2.sundai.ac.jp/yobi/sv/index.html>

駿台予備学校 教務推進部 エリアマネージャー 斎藤 昌一



駿台予備学校公式HP